



中学校・高等学校軽音楽部

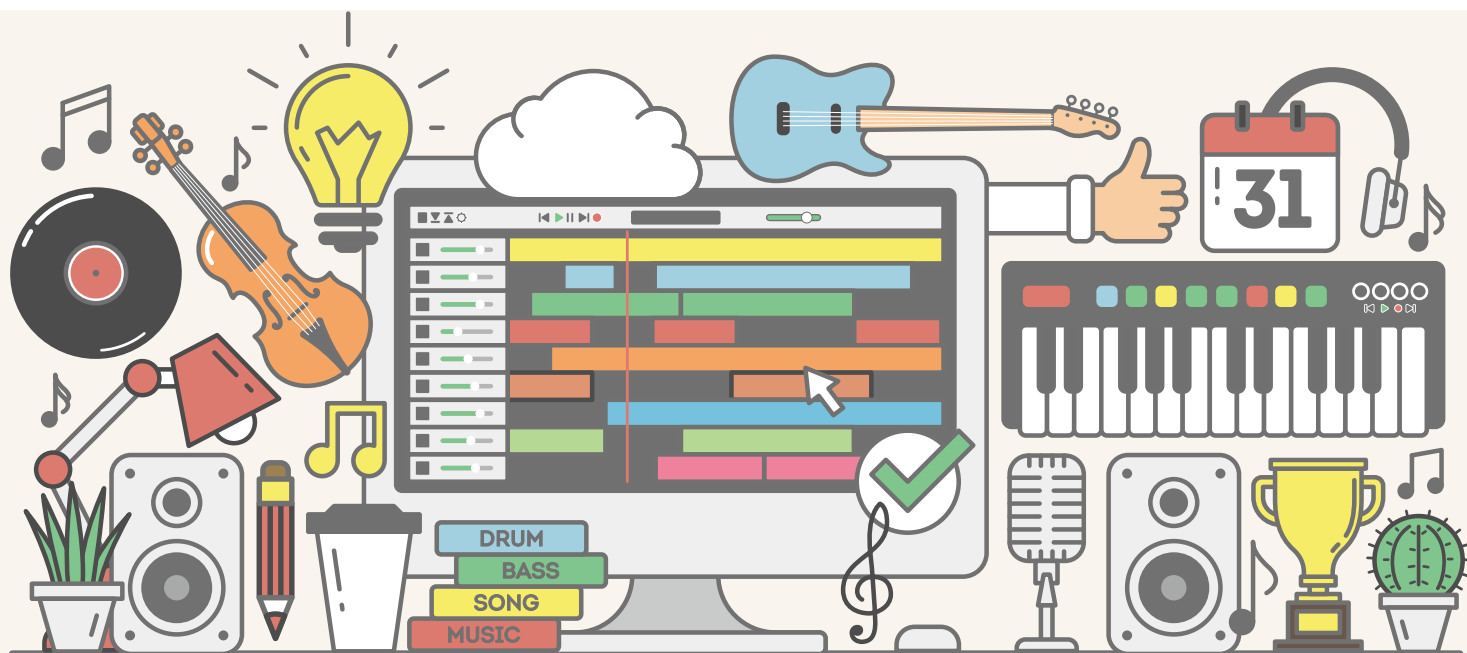
顧問通信

2021年10月号 VOL.36

※本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用の際は当協会までご一報ください。



DiGiRECO.JR 2021年10月号



「好き」を仕事にしよう！

音楽／エンタメの業界紹介イベント開催！

業界インタビュー ボーカリスト、音楽講師、サウンドクリエイター、レコーディングエンジニア、YouTuber／Vtuber
楽器リペア／メンテナンス、作詞家、作曲家、アレンジャー、マニピュレーター、プログラマー、音響（PA）、照明
コンサート／イベント制作、アーティスト・マネージメント、プロデューサー、テレビ映像（撮影、編集）



DiGiRECO BAND CLINIC

- 第104回 京都府立城南菱創高等学校 フォークソング部
- 第105回 愛知県立豊田西高等学校 ギター部
- 第106回 日本大学明誠高等学校 音楽部

INTERVIEW

軽音楽部の理念

「自分自身を成長させること」は絶対的な軸
【愛知県】名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本夢剛人

音楽やエンタメの
業界紹介イベント

音楽／エンタメ業界
EXPO 2021

11/3 (水・祝)



最新情報はこちら！

特定非営利活動法人（NPO法人）

全国学校軽音楽部協会 監修 発行

全国学校軽音楽部協会は 「音楽やバンド活動を通して、 これからの人材を育てる」 の理念のもと高等学校軽音楽部の 活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティ」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。

私たちは、支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会

寄付をお願いします

皆さまのご支援をお待ちしております



keionkyo.org



中学校・高等学校軽音楽部

顧問通信

■中学校・高等学校軽音楽部 顧問通信 VOL.36
 ■OCT・2021（第6巻4号通巻36号）
 ■発行日：令和3年10月1日（金）
 ■監修・発行：特定非営利活動法人（NPO法人）
 全国学校軽音楽部協会
 〒224-0003 横浜市中区中川中央1-37-6-405
 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900
 E-Mail：info@keionkyo.org
 ■企画・編集：株式会社ミュージックネットワーク

※本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用する際は当協会までご一報ください。

編集長の言葉 ...4

全国学校軽音楽部協会とは... ...5

配布校リスト ...9

高等学校軽音楽部顧問集会（リモート）
のお知らせ...8

NHK「天才てれびくん hello,」

「バンドでエールをとどけたい！」
に番組の音楽指導で協会が協力。...12

音楽やエンタメの業界紹介イベント

音楽／エンタメ業界EXPO 2021

「好き」を仕事にしよう！

音楽／エンタメの業界紹介イベント開催！ ...16

業界インタビュー

ボーカリスト、音楽講師、サウンドクリエイター
 レコーディングエンジニア、楽器リペア／メンテナンス
 YouTuber／Vtuber、作詞家、作曲家、アレンジャー
 マニピュレーター、プログラマー、音響（PA）、照明
 コンサート／イベント制作、アーティスト・マネージメント
 プロデューサー、テレビ映像（撮影、編集）

DiGiRECO BAND CLINIC

【京都府】第104回
 京都府立城南菱創高等学校 フォークソング部 ...33

【愛知県】第105回
 愛知県立豊田西高等学校 ギター部 ...34

【山梨県】第106回
 日本大学明誠高等学校 音楽部 ...35

INTERVIEW

軽音楽部の理念

「自分自身を成長させること」は絶対的な軸 ...37

【愛知県】名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本郷剛人

CONTRIBUTE

軽音楽部と合宿の関係性 ...38

【愛知県】名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本郷剛人

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」
 と軽音楽部の接点 ...40

軽音楽部の大会における統一審査基準（案）...42

音楽やエンタメの
業界紹介イベント

**音楽／エンタメ業界
EXPO 2021**

11/3（水・祝）



音楽／エンタメ業界 EXPO 2021 の開催に向けて

軽音楽部は音楽やバンド活動を通して、
1) コミュニケーション、2) チームワーク、
3) クリエイティビティーなどのスキルを
普段の活動を通して育むことができる、学
校に認められた部活動の1つです。スー
パースターを育成したり、プロのミュージ
シャンの登竜門ではありません。部活動
を通して、同級生や先輩後輩など、上下左右
の人間関係を構築したり、協働作業を学ぶ
ことは高校生にとって大きな経験になる
と思います。そういう意味で、楽器の演奏テ
クニックの向上は目的ではなく、副産物と
言えます。将来、社会に出た際に必要なス
キルを学べる、教育的な側面を持つ部活動
の割に、校内外での地位が高いとは言えな
いのは何が問題なのでしょう。

校内での地位を向上させるには、挨拶、
礼儀、時間厳守、学業優先など、軽音楽部
員である前に、高校生としての基本的な生
活態度が不可欠だと思います。一方で、校
外での地位向上には軽音楽部のみならず、
音楽やエンタメに対する認知や理解を高め
る必要があるのではないかと思います。「音
楽やバンド活動は趣味」という認識を「好
きなことを職業にして、豊かな人生を送る」
という認識に変えたいですね。以前、文化
庁の参事官が「部活動を通して将来のキャ
リアプランを考えることができるのは素晴
らしい」とおっしゃっていました。ただ、
今の現状は、将来は音楽やエンタメ業界に
進みたいと言うと、不安定な職業ではない
のか、しっかりした才能があるのか…など
など、多くの理由を突きつけられて、諦め
させられることが少なくないのではないで

しょうか。もちろん、スーパースターを目
指すのは狭き門ですが、職業として音楽や
エンタメ業界を選ぶのは他の職業選択とな
ら変わらないと思います。華やかな表舞
台で活躍するスーパースターを裏で支える
職業の多くは会社組織であることは案外知
られていないのかもしれませんが。

協会では、音楽やエンタメ業界には多岐
に渡る職業が存在し、多くの方々が安定し
た生活を送っているということを知らせる
ことが大切だと考え、来たる11月3日(水・
祝)、国立オリンピック記念青少年総合セ
ンターにて、「音楽／エンタメ業界 EXPO
2021」を開催します。軽音楽部員はもち
ろんのこと、他の部活の生徒でも、顧問
の先生方も、音楽やエンタメ業界の仕事に関
心のある方は、ぜひ来場して、視野を広げ
ていただければと考えております。当日は、
音楽やエンタメ業界で働く方々をお招き
し、多岐に渡る職業やその職業に就くため
の道のりを紹介する…業界初の「音楽やエ
ンタメの業界紹介イベント」です。詳しく
はホームページをご覧ください。

最後になりますが、今月より、協会がハ
ブになり、軽音楽部の顧問の先生の交流を
図るため、顧問集会(リモート)を定期的
に開催する予定です。こちら、詳しい情
報は軽音協のホームページで紹介してお
りますので、ぜひご参加ください。軽音楽部
の顧問という共通項で、全国津々浦々の先
生が自由に意見交換や情報交流ができる場
を作り、サポートしていきたいと考えてお
ります。

では、また次号でお会いしましょう！



三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI

小学生で電気に興味を持つ。中学生でブリティッシュ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む！と妄想。英語は必須と直感。エレキ・ギターを弾きつつ、シンセサイザーに興味を持ち、楽器より電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校電気工学科に進学。ロックバンドを組むが長続きせず。在学中、興味の対象は広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。某電子楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9年間の勤務を経て、独立。ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。2000年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思い付き、創刊。2013年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DIGIRECO.JR」を創刊。2018年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DIGIRECO.SR」を創刊。同年、特定非営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。

音楽面では約10年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演の方が楽しそう…ということで方向転換。高専生時代から好きだったヘヴィメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間12回以上のライブを展開。編集長の立場を利用してBLACK SABBATHのメンバーに会うなど…やりたい放題の公私混同。2013年5月、直訳ロッカーの王様と日本語でBLACK SABBATHの名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第2弾を計画中。2015年5月、BLACK SABBATHのギタリストであるトニー・アイオミのトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

●会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています



●BLOOD SABBATH
(www.bloodsabbath.com)

YouTube
チャンネルDIGIRECO.JR
VOL.45 電子版全国学校軽音楽部
協会

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長 三谷佳之
mitani@keionkyo.org

Twitter @yoshiyukimitani

全国の中高大学の軽音楽部 を支援しています

全国学校軽音楽部協会とは…

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。しかし、その一方で、他の部活動に比べるとまだその運営方法や指導方法などが確立しておらず、学校単位、各都道府県の高等学校文化連盟軽音楽専門部や軽音楽連盟単位での活動にとどまっているのが現状です。また、大会における審査基準やレギュレーション、校外活動の範囲、部活動とバンド活動との違いなどに統一された定義がないことが軽音楽部の発展の妨げになっていると思います。

今後、軽音楽部の社会的な認知と発展が進み、生徒が部活動として正しく活動できる状態にするには、文化庁をはじめ、各都道府県の高文連専門部や連盟、顧問の先生方と協力しながら、全国規模の交流ができる場を作ることや軽音楽部員への直接的な支援、及び指導が必要だと思います。

私たちは、このような支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長 三谷佳之

ご寄付のお願い

軽音楽部は部活動の1つであり、部活動は学校教育の一環です。学校教育であればこそ、公平性、中立性、継続性が大切です。それらを踏まえ、部活動を支援する団体としては特定非営利活動法人（NPO 法人）の形態が望ましいと考えました。

軽音楽部の強みはバンドや音楽を通して、社会が求める人材を育成できることです。全国の軽音楽部がより良い活動ができるように応援したい…。当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております。

公平性

全国的に公平であることが求められます。都心の学校でも地方の学校でも機会が均等に提供されることが大切です。営利目的の費用対効果では測れません。

中立性

中立性が保障されることが求められます。生徒にとって本当に有益なサポートを提供することが大切です。特定の企業に偏らず、中立な立場が求められます。

継続性

継続性を担保することが求められます。企業の業績の変動等の理由で支援が中断されるようなことなく、継続的にサポートを続けることが重要です。

全国学校軽音楽部協会へのご寄付をお願いします

音楽・楽器ファンの方や軽音楽部の顧問の先生、父兄、OBやOGの皆様、軽音楽部を応援していただけるあらゆる方からのご寄付をお待ちしております。1,000円から受け付けています。

寄付に関するお申し込みはホームページをご覧ください。
<https://keionkyo.org/sanjo/>

軽音協の活動は皆様の寄付金で成り立っています

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご支援をお待ちしております

軽音楽部は バランスの取れた 部活動です

軽音楽部は高校生の間で人気の高い部活動です。軽音楽部というと「音楽が好き」や「楽器演奏が楽しい」といった点が注目されますが、それだけではありません。バンドに大切なのは**コミュニケーション**と**チームワーク**と**クリエイティビティ**です。軽音楽部は社会に出てから必要とされるこれらの能力を音楽やバンド活動を通して学ぶことができる部活動です。

コミュニケーション力を育む



バンド活動はメンバー同士で相談しないと何も進みません。軽音楽部の活動を通して、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞くことで「コミュニケーション力」や「協調性」を育むことができます。

チームワークを学ぶ



お互いの意見をぶつけ合い、お互いのことを知ることで団結力と仲間意識が生まれます。軽音楽部は文化部でありながら、運動部のような「チームワーク」と「責任感」を学ぶことができます。

クリエイティビティを磨く



オリジナル曲を作るのはもちろんのこと、既存曲をコピーする際にも自分たちならではの工夫やアイデアを凝らして楽曲を組み立てていくことで、「クリエイティビティ」を磨くことができます。

協会の主な活動と寄付金の使途

出版物の発行

- ・生徒向け「デジレコ・ジュニア」の発行（年間7回）
- ・顧問向け「顧問通信」の発行（年間7回）
- ・大会プログラムの発行（年間16冊）

ガイドラインの提案

- ・大会審査基準／大会審査員
- ・外部指導員（コーチ）
- ・標準的な機材の提案

技術指導

- ・パートごとの実技指導・アンサンブル指導
- ・音楽理論や作詞／作曲講座
- ・音作り、楽器＆電気の知識、音響の指導

合同演奏会・発表会の企画

- ・複数校の合同演奏会のコーディネート
- ・公共施設、地域行事などでの演奏会の企画
- ・音楽合宿のできるホテルの紹介

講評・審査員・外部コーチ

- ・合同演奏会のコメンテーター
- ・大会などのコンテストの審査員
- ・外部指導員（コーチ）の紹介 ＊予定

他校・他県の情報

- ・顧問研修会＆交流会
- ・新任顧問のための初級技術講習会
- ・県を跨ぐ顧問交流のコーディネート

機材選び

- ・予算に応じた楽器や機材選びのアドバイス
- ・騒音問題を解決する「オール電化」の提案
- ・サイレント・スタジオのデモンストレーション

販売／リース

- ・予算に応じた楽器や機材選びのアドバイス
- ・少ない初期投資で機材を揃えられるリース
- ・楽器や機材の販売、説明、メンテナンス

スマホでアクセス！ 軽音協会の豊富なコンテンツ

他校のバンドの
演奏から学ぼう！

122 バンドの
演奏映像を
公開中！

第8回 愛知県高等学校軽音楽大会
第3回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
第2回 近畿北陸高等学校軽音楽コンテスト代替企画

第9回 愛知県高等学校軽音楽大会
第4回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
第3回 近畿北陸高等学校軽音楽コンテスト



軽音協会のYouTubeチャンネル
軽音ちゃんねる
スタート！

音楽の基礎知識から
最新楽曲の解説まで
無料オンライン雑誌



パート別オンライン
実技レッスンの数々
おうちで**基礎練習**！



音楽／エンタメの
業界紹介イベント
11月3日(祝)に開催！



特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



Twitter



Facebook



全国各地の 軽音楽部の顧問の先生と 繋がりませんか？



**高等学校軽音楽部
顧問集会（リモート）**

毎月開催。次回は 11 月 21 日（日）
詳しくは軽音協のホームページのバナーをクリックしてください。

特定非営利活動法人

全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



Facebook



10 中学校・高等学校軽音楽部 顧問通信 VOL.36 | OCT・2021

5429	水戸市	茨城県立緑岡高等学校 軽音楽部	7183	甲府市	山梨県立甲府工業高等学校 キター部	7655	岡崎市	岡崎学園高等学校 軽音楽同好会	5671	京都市	京都精華学園高等学校 軽音楽部
5431	水戸市	茨城県高校 フォーク部	7186	甲府市	山梨県立甲府城西高等学校 軽音楽同好会	7606	刈谷市	愛知県立刈谷北高等学校 キター同好会	5707	京都市	京都聖母学院中学校・高等学校 軽音楽部
5435	水戸市	水戸啓明高等学校 軽音楽同好会	7188	甲府市	山梨県立甲府第一高等学校 フォークロック部	7607	春日井市	愛知県立若倉総合高等学校 フォーク部	5677	京都市	京都府立南高等学校 軽音楽部
5438	石岡市	水戸平成学園高等学校 軽音楽クラブ	7189	甲府市	山梨県立甲府東高等学校 軽音楽部	7642	春日井市	中部大学附属日高等学校 軽音楽部	5681	京都市	京都府立嵯峨高等学校 フォークソング部
5452	土浦市	茨城県立石岡第二高等学校 軽音楽部	7190	甲府市	山梨県立甲府南高等学校 軽音楽部	7772	小牧市	愛知県立小牧高等学校 軽音楽部	5680	京都市	京都府立嵯峨高等学校 軽音楽部
5453	土浦市	茨城県立土浦第一高等学校 軽音楽部	7209	上野原市	日本大学明誠高等学校 音楽部	7661	津市	愛知県立津工業高等学校 PSLMC	5710	京都市	京都府立朱雀高等学校 軽音楽部
5446	土浦市	茨城県立土浦第二高等学校 軽音楽同好会	7205	大月市	山梨県立御高高等学校 軽音楽部	7658	津市	愛知県立津西高等学校 フォークソング部	5685	京都市	京都府立朱雀高等学校 軽音楽部
5447	土浦市	茨城県立土浦第三高等学校 音楽部	7204	高崎市	山梨県立高崎高等学校 フォークソング部	7659	瀬戸市	愛知県立瀬戸西高等学校 アコースティックギター部	5926	京都市	京都府立清明高等学校 軽音楽部
5452	土浦市	常総学院高等学校 軽音楽部	7179	南アルファ市	山梨県立巨摩高等学校 軽音楽同好会	7665	瀬戸市	聖パピタ女子高等学校 軽音楽部	5702	京都市	京都府立嵯峨高等学校 フォークソング部
5454	土浦市	土浦日本大学高等学校 音楽部	7199	南巨摩郡	身延山高等学校 軽音楽同好会	7666	瀬戸市	聖霊中学校・高等学校 軽音楽部	5704	京都市	京都府立嵯峨高等学校 フォークソング部
5451	土浦市	土浦日本大学中等教育学校 バンド部	7211	鎌倉市	山梨県立鎌倉高等学校 キター部	7668	西尾市	愛知県立西尾高等学校 キター部	5703	京都市	京都府立清水高等学校 軽音楽部
5456	茨城大塚市	茨城県立大洗高等学校 軽音楽同好会	7176	富士吉田市	山梨県立ひばり丘高等学校 軽音楽部	7694	知多市	愛知県立東浦高等学校 キター部	5682	京都市	京都府立清水高等学校 軽音楽部
5459	那珂市	茨城県立水戸農業高等学校 軽音楽部	7217	北杜市	山梨県立北杜高等学校 軽音楽部	7710	知多市	日本福祉大学付属高等学校 音楽部	5675	京都市	京都府立清水高等学校 フォークソング部
5466	日立市	茨城キリスト教学園高等学校 フォークソング部	7203	北杜市	帝京第三高等学校 軽音楽同好会	7679	知多市	愛知県立知多翔洋高等学校 キター部	5669	京都市	京都府立清水高等学校 音楽部
5464	日立市	茨城県日立立商業高等学校 軽音楽演劇同好会	7218	北杜市	北杜市立甲陵高等学校 キター同好会	7589	東海市	愛知県立横須賀高等学校 軽音楽同好会	5672	京都市	京都府立清水高等学校 音楽部
5460	日立市	茨城県日立立第一高等学校 キター部	■長野県		7697	東海市	愛知県立東海商業高等学校 フォークソング部	5695	京都市	大谷高等学校 軽音楽部	
5463	日立市	茨城県日立立第二高等学校 軽音楽部	7297	安曇野市	長野県安曇農林高等学校 軽音楽部	7685	日南市	中部大学 第一高等学校 軽音楽部	5670	京都市	同志社高等学校 軽音楽部
5468	日立市	明秀学園立高等学校 フォークソング同好会	7306	安曇野市	長野県明秀高等学校 軽音楽部	7712	半田市	愛知県立半田工業高等学校 音楽部	5678	京都市	同志社女子高等学校 軽音楽部
5470	鉾田市	茨城県立鉾田第二高等学校 音楽部	7307	安曇野市	長野県鉾田高等学校 LMC 部	7713	半田市	愛知県立半田高等学校 フォークソング部	5679	京都市	平安女学院中学校・高等学校 軽音楽部
5474	鹿嶋市	茨城県立鹿嶋第一高等学校 軽音楽部	7312	安曇野市	長野県明科高等学校 軽音楽部	7667	尾道市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	5712	京都市	造路高等学校 軽音楽同好会
5475	鹿嶋市	茨城県立鹿嶋第二高等学校 軽音楽部	7234	伊那市	長野県伊那北高等学校 軽音楽部	7726	豊橋市	愛知県立豊橋工科高等学校 音楽部	5691	京都市	造路高等学校 軽音楽同好会
5473	鹿嶋市	茨城県立鹿嶋第二高等学校 軽音楽部	7235	伊那市	長野県伊那弥生丘高等学校 軽音楽部	7730	豊橋市	豊橋中央高等学校 軽音楽部	5713	向田市	京都府立立花高等学校 フォークソング部
5476	鹿嶋市	茨城県立鹿嶋南高等学校 軽音楽部	7251	伊那市	長野県高遠高等学校 軽音楽部	9500	豊田市	ルネサンス豊田高等学校 軽音楽部	5716	城陽市	京都府立立花高等学校 フォークソング部
■栃木県			7237	伊那市	長野県小諸高等学校 軽音楽部	7735	豊田市	愛知県立豊田工業高等学校 音楽部	5718	京都市	京都府立清水高等学校 キター同好会
5491	宇都宮市	宇都宮短期大学附属高等学校 軽音楽部	7295	塩尻市	長野県山ノ内高等学校 キター部	7736	豊田市	愛知県立豊田西高等学校 キター部	5903	舞鶴市	舞鶴工業高等学校 通信課程キター同好会
5482	宇都宮市	栃木県立宇都宮女子高等学校 軽音楽部	7239	岡谷市	長野県岡谷高等学校 軽音楽部	7737	豊田市	愛知県立豊田西高等学校 キター部	■大分県		
5484	宇都宮市	栃木県立宇都宮南高等学校 軽音楽同好会	7231	下伊那郡	長野県阿留高等学校 軽音楽部	7741	豊田市	愛知県立豊田北高等学校 軽音楽部	8040	大分市	大分県立桜井高等学校 音楽部
5487	宇都宮市	栃木県立宇都宮白根高等学校 軽音楽部	7232	下伊那郡	長野県阿留高等学校 軽音楽部	7693	豊田市	愛知県立豊田南高等学校 軽音楽部	4272	大分市	大分県立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
5492	宇都宮市	日光学院高等学校 軽音楽同好会	7246	長野市	長野県茅野高等学校 軽音楽部	7663	豊田市	愛知県立豊田南高等学校 軽音楽部	8047	大分市	大分県立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
5498	佐野市	栃木県立佐野高等学校 キター部	7263	茅野市	長野県茅野高等学校 軽音楽部	9522	古高崎市	KTC おおぞら高等学校 名古屋キャンパス	9048	大分市	大分県立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
5506	鹿沼市	栃木県立鹿沼南高等学校 軽音楽同好会	7248	鶴ヶ嶋市	長野県鶴ヶ嶋工業高等学校 軽音楽同好会	9530	古高崎市	クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス 軽音楽部	8011	大分市	大分県立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
5507	小山市	小山工業高等専門学校 軽音楽部	7278	鶴ヶ嶋市	長野県赤井高等学校 軽音楽部	9447	古高崎市	愛知芸術高等専門学校 ミュージック部	7986	大分市	大分県立鶴岡工業高等学校 軽音楽部
5509	小山市	栃木県立小山城南高等学校 軽音楽部	7236	佐久市	佐久平総合技術高等学校 軽音楽部	7563	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8039	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5508	小山市	栃木県立小山北高等学校 軽音楽部	5639	佐久市	長野県若村田高等学校 軽音楽部	7566	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8042	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5524	足利市	足利短期大学附属高等学校 軽音楽部	7314	佐久市	長野県沢井南高等学校 軽音楽部	7575	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	7979	大分市	大分県立立花高等学校 NMC (軽音楽) 部
5517	足利市	栃木県立足利高等学校 キター同好会	7315	佐久市	長野県野沢北高等学校 軽音楽部	7647	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8044	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5518	足利市	栃木県立足利女子高等学校 軽音楽部	7256	小諸市	長野県小諸高等学校 軽音楽部	7648	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8019	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5519	足利市	栃木県立足利南高等学校 フォーク部	7257	小諸市	長野県小諸商業高等学校 軽音楽部	7656	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	7943	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5523	足利市	日蘭大学足利高等学校 Music Art Club	7224	松本市	松岡学園高等学校 軽音楽同好会	7683	古高崎市	愛知県立立花高等学校 フォークソング部	7976	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5527	大田原市	栃木県立大田原女子高等学校 フォークソング部	7229	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7684	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8003	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5532	栃木市	栃木県立栃木高等学校 軽音楽部	7228	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7666	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	4276	大分市	大分県立立花高等学校 フォークソング部
5529	栃木市	栃木県立栃木工業高等学校 キター部	7233	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7769	古高崎市	愛知県立立花高等学校 PM 部	7959	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5533	栃木市	栃木県立栃木女子高等学校 軽音楽部	7260	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7773	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8002	大分市	大分県立立花高等学校 キター部
5540	那須塩原市	栃木県立那須塩原高等学校 軽音楽同好会	7261	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7560	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8135	大分市	大分県立立花高等学校 YMW 部
5547	日光市	栃木県立今市工業高等学校 軽音楽同好会	7262	松本市	松本国際高等学校 軽音楽部	7610	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8061	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5546	日光市	栃木県立今市高等学校 キター部	7263	松本市	松本国際高等学校 キター部	9499	古高崎市	筑武ビジネス専門学校 高校課程 軽音楽部	7963	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
■群馬県			7264	松本市	松本国際高等学校 音楽部	7613	古高崎市	金城学院高等学校 軽音楽部	7955	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5557	安中市	群馬学園高等学校 軽音楽部	7265	松本市	松本国際大学ケック高等学校 FMC 部	7614	古高崎市	宇都宮高等学校 軽音楽部	8052	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5562	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎興隆高等学校 軽音楽部	7266	上野郡	群馬県上野郡高等学校 軽音楽同好会	7632	古高崎市	明倫高等学校 軽音楽部	7936	大分市	大分県立立花高等学校 フォークソング部
5560	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎清見高等学校 軽音楽部	7282	上野郡	群馬県上野郡高等学校 軽音楽部	7657	古高崎市	桐山女子高等学校 キター部	8034	大分市	大分県立立花高等学校 フォークソング部
5565	甘楽郡	群馬県立下仁田高等学校 軽音楽部	7311	上野郡	群馬県上野郡高等学校 軽音楽部	7674	古高崎市	大岡女子高等学校 軽音楽部	8057	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5570	桐生市	群馬県立桐生西高等学校 軽音楽部	7227	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7682	古高崎市	中央大学附属中高等学校 バンド部	4286	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5577	吾妻郡	群馬県立吾妻中央高等学校 音楽部	7247	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7695	古高崎市	東海学院高等学校 軽音楽同好会	8120	大分市	大分県立立花高等学校 フォークソング部
5579	吾妻郡	群馬県立長野高等学校 軽音楽部	7267	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7696	古高崎市	東海学院中学校・高等学校 軽音楽同好会	7915	大分市	大分県立立花高等学校 フォークソング部
5583	高崎市	群馬県立高崎工業高等学校 軽音楽部	7268	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7700	古高崎市	東邦高等学校 軽音楽部	8041	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5589	高崎市	群馬県立高崎高等学校 軽音楽同好会	7269	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7703	古高崎市	明倫高等学校 フォークソング部	7985	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5584	高崎市	群馬県立榛名高等学校 軽音楽部	7270	上田市	上田高等学校 軽音楽部	7705	古高崎市	南山中学校・高等学校女子部 キター部	8091	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5591	高崎市	高崎健康福祉大学高崎高等学校 軽音楽部	7252	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	7744	古高崎市	名古屋経済大学高蔵高等学校 軽音楽部	8062	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5590	高崎市	高崎市立高崎経済大学附属高等学校 軽音楽部	7245	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	5640	古高崎市	名古屋経済大学市部高等学校 軽音楽部	7993	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5592	高崎市	高崎商科大学附属高等学校 軽音楽部	7305	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	7747	古高崎市	名古屋国際中学校・高等学校 軽音楽部	7920	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5597	佐渡郡	群馬県立玉村高等学校 軽音楽部	7271	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	7749	古高崎市	名古屋市立向陽高等学校 フォークソング部	8136	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5599	渋川市	群馬県立渋川工業高等学校 軽音楽部	7272	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	7750	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 キター同好会	8036	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5602	沼田市	群馬県立沼田高等学校 軽音楽部	7273	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	7751	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	8056	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5604	沼田市	群馬県立沼田女子高等学校 軽音楽部・キター部	7275	沼田市	沼田高等学校 軽音楽部	7752	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	7998	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5616	前橋市	群馬県立前橋高等学校 軽音楽部	7274	沼田市	沼田高等学校 軽音楽部	7754	古高崎市	名古屋市立若松商業高等学校 キター部	7913	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5614	前橋市	群馬県立前橋高等学校 定時制夜間部	7241	千曲市	長野県東上高等学校 軽音楽部	7759	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	8037	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5617	前橋市	前橋育英高等学校 軽音楽部	7242	千曲市	長野県東上高等学校 フォークソング部	7760	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	7918	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5624	太田市	群馬県立新田高等学校 軽音楽部	7280	大田市	長野県大田高等学校 軽音楽部	7761	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	7981	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5623	太田市	群馬県立太田東高等学校 軽音楽部	7285	中野市	長野県中野立志館高等学校 軽音楽部	7762	古高崎市	名古屋市立工業高等学校 軽音楽部	8080	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5626	太田市	常盤高等学校 軽音楽部	7253	長野市	長野県東上高等学校 フォーク部	7564	古高崎市	愛知県立立花高等学校 軽音楽部	8066	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5628	藤岡市	群馬県立藤岡中央高等学校 軽音楽部	7254	長野市	長野県東上高等学校 軽音楽部	■三重県			4282	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5631	富岡市	群馬県立富岡高等学校 軽音楽部	7259	長野市	長野県松山高等学校 ミュージック部	7774	伊賀市	三重県立伊賀の学園高等学校 軽音楽部	8130	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
5634	邑楽郡	群馬県立邑楽高等学校 軽音楽部	7286	長野市	長野県長野市高等学校 軽音楽部	7788	伊賀市	三重県立伊賀市高等学校 軽音楽部	7951	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
■新潟県			7287	長野市	長野県長野市高等学校 軽音楽部	7792	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽部	4289	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
6925	加茂市	加茂県立高等学校 軽音楽同好会	7288	長野市	長野県長野市工業高等学校 軽音楽部	7797	桑名市	三重県立桑名高等学校 軽音楽同好会	7965	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
6945	佐和田市	新潟県立佐和田高等学校 軽音楽部	7289	長野市	長野県長野市高等学校 フォークソング部						

8055	堺市	大阪商業大学堺高等学校 軽音楽部	5801	神戸市	兵庫県立神戸商業高等学校 音楽部	9271	広島市	クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス 軽音楽部	6111	福岡市	福岡県立福岡調音館高等学校 軽音楽同好会
7966	堺市	大阪府立堺工科高等学校 軽音楽部	5848	神戸市	兵庫県立神戸北高等学校 軽音楽部	8367	広島市	広島県立安芸市高等学校 軽音楽部	6100	福岡市	福岡市立博多工高等学校 軽音楽部
4283	堺市	大阪府立堺上高等学校 軽音楽部	5847	神戸市	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校 ギター部	8375	広島市	広島県立可部高等学校 軽音楽部	6104	福岡市	福岡市立福岡工高等学校 軽音楽部
7967	堺市	大阪府立堺西高等学校 軽音楽部	5792	神戸市	兵庫県立須磨友友高等学校 ギター同好会	8380	広島市	広島県立祇園高等学校 軽音楽部	6129	福岡市	福岡市立福岡高等学校 ギター部
7968	堺市	大阪府立堺東高等学校 軽音楽部	5849	神戸市	兵庫県立東灘高等学校 軽音楽部	8389	広島市	広島県立五日市高等学校 軽音楽部	6130	福岡市	福岡市立福岡高等学校 軽音楽同好会
7969	堺市	大阪府立堺南高等学校 軽音楽部	5759	神戸市	兵庫県立土佐高等学校 軽音楽部	8402	広島市	広島県立島影高等学校 軽音楽部	9448	福岡市	福岡市立福岡高等学校 フォークソング 軽音楽部
8020	堺市	大阪府立北北高等学校 軽音楽部	5841	神戸市	兵庫県立兵庫工業高等学校 軽音楽部	8404	広島市	広島県立立島観音高等学校 軽音楽同好会	6122	福岡市	福岡市立福岡高等学校 フォークソング 軽音楽部
8081	堺市	大阪府立登美丘高等学校 フォークソング部	5818	神戸市	兵庫県立兵庫高等学校 ギターアンサンブル部	8406	広島市	広島県立立島工業高等学校 軽音楽部	6141	福岡市	福岡県立立島工業高等学校 軽音楽同好会
8089	堺市	大阪府立東百舌鳥高等学校 軽音楽部	5819	神戸市	兵庫県立夢舞台高等学校 ギター部	8409	広島市	広島県立広島国際高等学校 軽音楽部	6173	北九州市	九州国際高等学校 軽音楽部
8097	堺市	大阪府立豊崎高等学校 音楽部	5852	神崎郡	市川高等学校 ギター同好会	8421	広島市	広島県立広島商業高等学校 軽音楽部	6175	北九州市	北九州市立福岡高等学校 軽音楽部
8105	堺市	大阪府立美原高等学校 軽音楽部	5869	高松市	神戸学院高等学校 軽音楽部	8429	広島市	広島県立高尾高等学校 ギター部	6150	北九州市	高尾高等学校 軽音楽部
8111	堺市	大阪府立福原高等学校 軽音楽部	5862	高松市	神戸学院高等学校 軽音楽部	8430	広島市	広島県立高尾高等学校 軽音楽部	6171	北九州市	自由ヶ丘高等学校 軽音楽同好会
8115	堺市	大阪府立鳳高等学校 フォークソング部	5856	高松市	西宮市立西宮東高等学校 軽音楽部	8413	広島市	広島市立基町高等学校 フォークソング部	6155	北九州市	常盤高等学校 軽音楽部
4270	堺市	東大高等学校 軽音楽部	5858	高松市	兵庫県立西宮甲山高等学校 軽音楽部	8416	広島市	広島市立舟入高等学校 軽音楽部	6162	北九州市	真庭高等学校 軽音楽部
4301	堺市	大阪府立泉陽高等学校 PMC	5854	高松市	兵庫県立鳴尾高等学校 軽音楽部	6016	広島市	広島大学附属高等学校 軽音楽部	6160	北九州市	東筑紫郡高等学校 ギター部
4300	堺市	初志立館高等学校 音楽部	5872	高松市	兵庫県立西脇高等学校 ギター部	8428	広島市	広島市立広島高等学校 フォークソング部	6159	北九州市	美奈野女子高等学校 軽音楽部
4265	堺市	大阪府立金岡高等学校 軽音楽部	5978	川西市	兵庫県立川西市高等学校 軽音楽部	8437	広島市	山陽高等学校 軽音楽部	6153	北九州市	福岡県立立島高等学校 音楽部
8082	二島郡	大阪府立島本高等学校 軽音楽部	5883	川辺郡	兵庫県立若菜川高等学校 軽音楽同好会	8440	広島市	修善寺高等学校 音楽部	6168	北九州市	福岡県立立島高等学校 ギター部
7978	四国地方	大阪府立四国高等学校 軽音楽部	5880	相生市	兵庫県立相生高等学校 軽音楽部	8448	広島市	修善寺高等学校 音楽部	6174	北九州市	福岡県立立島高等学校 フォークソング同好会
8035	山口市	大阪国際大田高等学校 フォークソング部	5884	多可郡	兵庫県立多可高等学校 軽音楽同好会	8449	広島市	修善寺中学校、高等学校 軽音楽部	6165	北九州市	福岡県立立島高等学校 軽音楽部
4284	山口市	大阪国際南高等学校 軽音楽部	5887	丹波市	兵庫県立柏原高等学校 ギター部	8471	広島市	比治山女子中学、高等学校 フォーク部	6166	北九州市	福岡県立立島高等学校 ギター部
4271	山口市	大阪電気通信大学高等学校 軽音楽部	5888	淡路市	兵庫県立淡路高等学校 ギター部	8457	広島市	広島県立大柿高等学校 音楽部	6178	北九州市	豊田高等学校 軽音楽部
7921	山口市	大阪府立芦門高等学校 軽音楽部	5892	朝来市	生野市立生野高等学校 バンド部	8470	広島市	知水館高等学校 軽音楽部	6147	北九州市	明治学院高等学校 音楽部
4297	山口市	大阪府立山口東高等学校 軽音楽部	5738	那珂市	兵庫県立淡路三原高等学校 音楽部	8435	三次市	広島県立三次高等学校 音楽部	6183	柳川市	七森高等学校 軽音楽部
4279	松原市	大阪大学高等学校 軽音楽部	5904	尾道市	尾道市立尾道高等学校 フォークソング部	8373	山県郡	広島県立加計高等学校 軽音楽部	6182	長崎県	活水高等学校 軽音楽同好会
7987	松原市	大阪府立松原高等学校 軽音楽部	5895	尾道市	尾道市立尾道高等学校 フォークソング部	8374	山県郡	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8824	長崎県	純心中学校、純心女子高等学校 軽音楽同好会
8006	松原市	大阪府立松原高等学校 軽音楽部	5905	尾道市	尾道市立尾道高等学校 フォークソング部	8455	山県郡	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8846	長崎県	純心中学校、純心女子高等学校 軽音楽同好会
8067	松原市	大阪府立大塚高等学校 軽音楽部	5901	尾道市	尾道市立尾道高等学校 軽音楽部	8423	山県郡	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8866	長崎県	長崎県立長崎高等学校 軽音楽部
8059	豊後市	豊後市立豊後高等学校 軽音楽部	5907	尾道市	尾道市立尾道高等学校 軽音楽部	8462	山県郡	広島県立加計高等学校 軽音楽部	9227	長崎県	長崎県立長崎高等学校 軽音楽部
8091	豊後市	大阪府立西尾高等学校 フォークソング部	5899	尾道市	尾道市立尾道高等学校 軽音楽部	8376	東広島市	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8959	中津市	成瀬高等学校 軽音楽部
8116	豊後市	大阪府立北北高等学校 軽音楽部	5894	尾道市	尾道市立尾道高等学校 軽音楽部	8377	東広島市	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8909	菊池市	菊池女子高等学校 軽音楽同好会
8094	豊後市	同志社香里高等学校 軽音楽部	4274	尾道市	兵庫県立尾道高等学校 軽音楽部	8488	東広島市	広島県立加計高等学校 軽音楽部	8914	玉名市	熊本県立玉名高等学校 軽音楽同好会
8025	大田市	大阪大学高等学校 軽音楽部	5908	美瑛市	兵庫県立美瑛高等学校 軽音楽部	8382	廿日市市	広島県立宮島高等学校 軽音楽部	8915	玉名市	熊本県立玉名高等学校 ギター部
7973	大田市	大阪府立山田高等学校 軽音楽部	5907	美瑛市	兵庫県立美瑛高等学校 軽音楽部	8432	廿日市市	広島県立宮島高等学校 軽音楽部	8902	熊本市	ルーテル学院中学、高等学校 軽音楽部
7996	大田市	大阪府立大田高等学校 軽音楽部	5924	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8467	廿日市市	広島県立廿日市高等学校 ギター部	8907	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
7997	大田市	大阪府立大田高等学校 軽音楽部	5922	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8468	廿日市市	広島県立廿日市高等学校 軽音楽部	8921	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8014	大田市	大阪府立千里高等学校 フォークソング部	5918	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8428	廿日市市	広島県立廿日市高等学校 軽音楽部	8925	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8118	大田市	大阪府立千里高等学校 軽音楽部	5931	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8430	尾道市	広島県立尾道高等学校 軽音楽部	8936	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8000	摂津市	星野高等学校 音楽部	5917	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8475	尾道市	広島県立尾道高等学校 軽音楽部	8977	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8033	摂津市	大阪府立摂津高等学校 軽音楽部	5936	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8473	尾道市	広島県立尾道高等学校 軽音楽部	8983	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8013	摂津市	大阪府立摂津高等学校 フォークソング部	5912	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8475	尾道市	広島県立尾道高等学校 軽音楽部	8983	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
4268	東淀川区	大阪府立東淀川高等学校 軽音楽部	5932	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8445	府中市	広島県立府中市高等学校 軽音楽部	8983	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
7964	東淀川区	大阪府立東淀川高等学校 軽音楽部	5911	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8476	府中市	広島県立府中市高等学校 軽音楽部	8931	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8017	東淀川区	大阪府立東淀川高等学校 軽音楽部	5921	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8371	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	8943	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
4267	泉南郡	大阪府立泉南高等学校 軽音楽部	5937	宝塚市	兵庫県立宝塚高等学校 軽音楽部	8387	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	8933	熊本市	熊本県立熊本高等学校 軽音楽部
8129	泉南郡	大阪府立泉南高等学校 軽音楽部	5947	明石市	兵庫県立明石高等学校 軽音楽部	8443	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	8965	八代市	熊本県立八代高等学校 軽音楽部
7917	泉南郡	大阪府立八幡高等学校 軽音楽部	5917	明石市	明石市立明石高等学校 軽音楽部	8447	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	8940	八代市	熊本県立八代高等学校 軽音楽部
7942	大塚市	大阪府立大塚高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8479	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	9000	大分市	大分県立大分高等学校 軽音楽部
7977	大塚市	大阪府立大塚高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8479	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	9004	大分市	大分県立大分高等学校 軽音楽部
8134	大塚市	大阪府立大塚高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8479	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	9017	大分市	大分県立大分高等学校 軽音楽部
8139	大塚市	大阪府立大塚高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	姫路市立姫路高等学校 軽音楽部	8479	福山市	広島県立福山市高等学校 軽音楽部	9017	大分市	大分県立大分高等学校 軽音楽部
7982	池田市	池田市立池田高等学校 軽音楽部	5968	吉野郡	奈良県立吉野高等学校 軽音楽部	8520	宇都宮市	宇都宮市立宇都宮高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8068	池田市	大阪府立池田高等学校 軽音楽部	5969	吉野郡	奈良県立吉野高等学校 軽音楽部	8520	宇都宮市	宇都宮市立宇都宮高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7988	大阪府	アナン学園高等学校 軽音楽部	5973	所沢市	所沢市立所沢高等学校 軽音楽部	8500	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7945	大阪府	近畿大学附属高等学校 軽音楽部	5979	所沢市	所沢市立所沢高等学校 軽音楽部	8558	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4269	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5979	所沢市	所沢市立所沢高等学校 軽音楽部	8558	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7916	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5987	大和郡	奈良県立大和高等学校 軽音楽部	8529	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7928	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5985	大和郡	奈良県立大和高等学校 軽音楽部	8491	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7991	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5947	大和郡	奈良県立大和高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8107	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5994	大和郡	奈良県立大和高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8108	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	5991	大和郡	奈良県立大和高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8109	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	6005	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
5737	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	6007	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8066	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	6008	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8087	大阪府	大阪府立大阪高等学校 軽音楽部	6002	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4280	藤井寺市	大阪府立藤井寺高等学校 軽音楽部	6000	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8092	藤井寺市	大阪府立藤井寺高等学校 軽音楽部	6010	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8093	藤井寺市	大阪府立藤井寺高等学校 軽音楽部	5996	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4296	南河内郡	大阪府立南河内高等学校 軽音楽部	6009	奈良市	奈良県立奈良高等学校 軽音楽部	8552	下関市	下関市立下関高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7938	柏原市	大阪府立柏原高等学校 軽音楽部	8162	伊都郡	高野山高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8088	柏原市	大阪府立柏原高等学校 軽音楽部	8162	伊都郡	高野山高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7974	八尾市	大阪府立八尾高等学校 軽音楽部	8182	伊都郡	高野山高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8102	八尾市	大阪府立八尾高等学校 軽音楽部	8180	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8103	八尾市	大阪府立八尾高等学校 軽音楽部	8144	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8104	八尾市	大阪府立八尾高等学校 軽音楽部	8144	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7911	富田町	富田町立富田高等学校 軽音楽部	8143	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7927	富田町	富田町立富田高等学校 軽音楽部	8178	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4288	富田町	大阪府立金剛高等学校 軽音楽部	8154	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8106	富田町	大阪府立富田高等学校 軽音楽部	8176	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7970	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8173	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8015	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8175	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4295	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8180	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8113	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8167	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8118	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8182	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8034	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8183	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8096	豊中市	大阪府立豊中高等学校 軽音楽部	8184	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
4293	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8186	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8038	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8186	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
7957	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8184	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8070	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8184	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8121	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8184	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8123	枚方市	大阪府立枚方高等学校 軽音楽部	8184	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	8618	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040	別府市	別府市立別府高等学校 軽音楽部
8008	箕面市	大阪府立箕面高等学校 軽音楽部	8254	津市	津市立津高等学校 軽音楽部	8748	高松市	高松市立高松高等学校 軽音楽部	9040		

「バンドでエールをとどけたい！」 に番組の音楽指導で協会が協力。

NHK「天才てれびくん hello,」の番組制作に協力してきました。出演者であるてれび戦士たちがバンド演奏をしたいということで、全国学校軽音楽部協会が全面的にバック・アップ。パート・レッスン、バンド練習、楽器＆機材の使い方、楽曲アレンジ、ステージ演出など、軽音楽部の日々の活動と重なる部分がたくさんあったので、ぜひ本文と照らし合わせて番組をご覧ください！

小中学生5人からなる「てれび戦士」のバンド・メンバーは、年齢、性別、楽器経験などがバラバラです。ピアノ歴7年というキーボードのユウマ以外は基本的に楽器初心者で、ギターのマリアとベースのショウタは楽器に触るのも初めて。ドラムのゲンタは以前1週間だけレッスンを受けたことがあるという状態です。ボーカルのギョナイは、歌うことは好きだけど自信が持ていない様子…。

こういったレベルやモチベーションが異なる者同士がバンドを組むことは、軽音楽部でもよくあります。チームで1つのことを成し遂げ、メッセージを伝えることは簡単ではありません。しかし、本番収録は約2ヶ月後です。目標に向かって逆算していき、「今すべきこと」を全員

がしっかりと理解することが大切です。

練習を3ステップに分ける

ベストな本番を迎えるには、個人のスキルを上げる「個人練習」、バンド単位で行う「バンド練習」、本番を想定した「ライブ練習」をきちんと整理して行うことが大切です。

今回は全員に講師をつけ、特に初心者のメンバーには楽器の構造、構え方、音が出る仕組みといった説明から、基本的な運指、ピックやスティックの持ち方、弾き方＆叩き方、アンプの使い方、シールド・ケーブルのつなぎ方、チューニング方法などをレクチャーしました。こうし

た。また、原曲はギター・メインでキーボードは入っていないのですが、ピアノやシンセサイザーが土台となるアレンジに変えました。軽音楽部でも、自分たちのレベルや楽器構成、方向性などを考えて楽曲をアレンジすることにも挑戦してみてください。技術的なスキル・アップも大切ですが、部活動でしかできない「みんなで良い合奏をする」ことに重きを置いた場合、時にはフレーズなどを簡単にしてしまうことも、バンド演奏を早くまとめる有効手段の1つです。

バンド練習で心を1つに

ラグビーには「One for All, All for One」という言葉があります。1人は全員のため、全員は1人のため、という意味です。バンド演奏もまったく同じです。遅刻が多かったり、演奏中に自分のことだけを気にしては、なかなかアンサンブルはまとまっていきません。自分がこのチームの中でどんな責任を担っているのか、他のメンバーに迷惑をかけないようにするには…といったことを考えていく気持ちが、どんどんバンドを1つにしていきます。

しかし、そこでは当然ぶつかり合いが生じます。皆さんも少なからず経験があるのではないのでしょうか。でも、それは自然なことです。それがクリエイティブであることの証拠であり、チームで何かをする時には必ず生じる過程です。だって、初心者の小中学生バンドにだってある



▲本番前に最後の指導。心を1つにして約2ヶ月間の練習の成果を出そう

ことなんですから（笑）。でも彼らは、そういったことを経て、皆んなで何かを作り上げる楽しさ、仲間がいる心強さなども学んだようです。

本番は「魅せる」ことも大事

今回の企画と軽音楽部の活動には、1つ大きな違いがあります。それは、テレビ戦士たちが皆んなすでにタレント活動をしているというこ

とです。彼らは本番のプレッシャーにも負けることなく、「本番！」の声を笑顔とパワーに変えて最善のパフォーマンスをすることができます。もちろん、本番ではミスもありましたが、それ以上に彼らの想いや、みんなで音楽を届けたいという気持ちが伝わってきました。

軽音楽部においては、本番を想定した「ライブ練習」を繰り返すのみです。バンドやポピュラー・ミュージックはエンターテインメントでもあります。誰かに歌や演奏を聴いてもらうだけ

ではなく、見て（魅て）もらうものです。派手なパフォーマンスをしろというわけではありませんが、視覚的なことも考えて練習を詰めていくことはとても大事です。

テレビ戦士たちの「音楽で皆んなを元気にしたい！」という想いは、番組を見てくれた人にきっと伝わると思います。軽音楽部員の皆さんも顧問の先生方も、彼らの2ヶ月間の努力と汗の結晶をぜひ放送でご覧ください！

天才てれびくん hello,

てれび戦士 バンドメンバー

ベース

ショウタ（阿比留照太）／中1

バンドって何年もやり続けているから人を感動させられるものだと思ってたから、2ヶ月じゃ無理やろ！と最初は思いました。でも、きれいに弾いたりってことよりも、元気さだったり心を込めるとかを大事にすれば、想いは届くはずと思って練習しました。メンバーとも言いたいことを言い合えるような仲になりました。

ギター

マリア（布施麻理亜）／小6

初めて話を聞いた時は「この人たち何言ってるの？負担でしょ」って思いました（笑）。でも、ギターのレッスンもバンド練習もすごく楽しかったし、メンバーの皆んなとの仲も深められたから、今は本当にやって良かった！って感じます。自分は飽きやすい性格だったけど、バンドをすることで直せたような気がします。

ボーカル

ギュナイ（ギュナイ滄美）／中1

最初は、歌に苦手意識があって、バンドやるならギターとかが良いって思ってたから、ボーカルは絶対イヤだったんです。でも、実際にバンドの中で歌ってみたらすごく楽しくて。それぞれができていれば良いわけじゃなくて、皆んなの音が合わさった時の演奏は本当に楽しくて最高でした。団結力も高まったと思います。

ドラム

ゲンタ（溝口元太）／中2

バンドやろうってなった時すごくワクワクしたけど、本当にできるのかな、自分がやって良いのかなって不安でした。でも、2ヶ月頑張ったし、今は達成感があります。あと、もうこの5人で練習とかできないのかって喪失感も…。今まで1人で何かすることの方が好きだったけど、仲間でするのも良いなって思えました。

天才てれびくん hello, スペシャル

バンドでエールを とどけたい！

NHK Eテレ
9月20日（月祝）午前9時～
通常 NHK Eテレ
毎週月曜～木曜 午後6時20分～

キーボード

ユウマ（坂上悠真）／中1

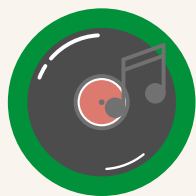
バンドやりたいって言ったけど、本当にできるのか？って思ってた。練習も最初は危ない感じだったし。でも、最後の方は本当にすくて。今は、このメンバーで良かった、このメンバーじゃないとダメだったって思ってます。クラシック・ピアノを1人で弾いてたけど、皆んなで音楽を表現する楽しさを知りました。

音楽や
エンタメの
業界紹介
イベント

どんな仕事があるのかな？
まだ知らないことがいっぱい！

音楽／エンタメ業界 EXPO 2021

将来の進路選択肢を広げよう



ミュージシャン
レコード業界



音響／照明
イベント制作



楽器メーカー
楽器メンテ



ゲーム音楽
アニメ音楽



テレビ／映像
マスコミ



声優
ナレーター



幼児教育
福祉介護

11/3

祝
水

午前10時～午後4時

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

入場無料／予約制

※新型コロナウイルス感染症対策の一環として、事前に
参加申込をしていただいております。



最新情報や
参加申込は
こちら！

主 催：特定非営利活動法人（NPO 法人）全国学校軽音楽部協会（keionkyo.org）
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団（kakehashi-foundation.jp）

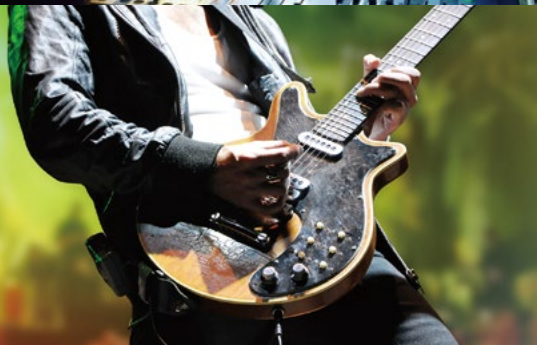
* 新型コロナウイルス感染症対策実施中



「好き」を仕事にしよう！

音楽／エンタメの業界紹介イベント開催！

皆さんは、どんな将来設計をしていますか？ 高校生にそんな話はまだ早い！？ そう思う人もいるかもしれませんが、在学中には進路を決めて、志望校や就職先を見据えた行動をしていかななくてはなりません。皆さんが大好きな「音楽」を仕事にすることだって可能です。まずは、音楽／エンタメ業界の仕事をリサーチしましょう！



幅広い「ミュージシャン」の仕事

いわゆる「ミュージシャン」という職業の人は、何も有名なバンドや歌手ばかりではありません。作詞家、作曲家、アレンジャー、サウンド・プロデューサー、スタジオ・ミュージシャン…。音楽を職業としている人は大勢います。

また、どんな業種でもそうですが、表側で目立つ仕事と裏側で支える仕事があります。皆さんが普段聴いている音源は、ミュージシャンが歌ったり演奏してレコーディングされたものですが、レコーディングにはレコーディング・エンジニア、楽器テクニシャン（楽器の調整）など、様々な職業のプロが関わっています。ライブにも、音響、照明、楽器＆機材関係、舞台監督（すべてを仕切る総監督）、大道具＆小道具、映像、特殊効果などの仕事があり、全員が力を合わせてステージを作り上げています。

そして、そこには会社組織としてレーベルやプロダクションもプロデュース、A&R（アーティストとの連携）、マネージメント（スケジュールや制作費管理）などで関係しています。また、規模にもよりますが、ライブにはプロモーターやイベント制作会社からグッズ販売まで、いくつもの会社関わっています。

広がる「エンタメ業界」の仕事

音楽／エンタメ業界の「仕事」はまだまだまだたくさんあります。皆さんが普段使っている楽器や機材は、楽器メーカーや音響の会社が製造＆販売しています。メーカーは企業ですから、企画、営業、販売促進、マーケティングなど、他業種の企業と同様の仕事内容もあります。

メディアミックスが当たり前になってきている現代では、アニメやゲームといったポップ・カルチャーも音楽業界と近いところにいます。ゲーム音楽やアニメのBGMを作ったりするだけでなく、今人気の声優やYouTuber、ダン

サーなども、同じエンタメの職業です。

近年では、映像に関係する職種も多くなりました。カメラ、照明、パソコンでの編集作業なども、音楽／エンタメに携わる仕事です。他にも、衣装、ヘアメイク、ボイス・トレーナー、振付師、広い意味ではテレビやラジオといったマスメディア関係、音楽ライター、音楽評論家、音楽教師、音楽学校＆スクール講師なども、この業界には欠かせない職業です。

初の音楽／エンタメ業界展

それら音楽／エンタメ業界の職業や仕事内容についてもっと詳しく知りたい。その職業に就くためにはどんなことが必要で、どんな進路が考えられるのか…といった疑問に答えるのが、初の音楽／エンタメ業界展である「音楽／エンタメ業界 EXPO 2021」です。

このイベントは、単なる業界の職業展示会ではありません。音楽業界やエンターテインメント業界に関係する多くの職業を「見て」「聞いて」「学ぶ」イベントです。開催日には、音楽専門学校や音楽大学が講演を行い、実際の仕事現場の話などを交えた音楽／エンタメ業界の説明を聞くことができます。さらに、その講演の合間には、各ブースで各学校が皆さんの質問や相談を受け付けています。以前から興味がある、講演を聞いて面白そうだと感じたら、もっと詳しく話を聞いてみましょう。

また、主催側としても、音響、照明、レーベル、楽器、イベント制作、放送など、業界のプロによる講演を予定しています。参加する音楽専門学校や音楽大学、講演内容などは、随時 Web で紹介（更新）していきます。その他の詳細も確認できるので、ぜひ QR コードからアクセスしてください。感染症対策は収容人数の制限など、国立の施設の厳しい基準を守って行いますので、安心してご来場ください。参加希望の方は Web での事前登録が必要になります。

主な職業、職種	主な就職先、職業にする方法	高校卒業後の進路の例
1 ミュージシャン		
アーティスト、プレイヤー	プロダクション & レーベルと所属契約、フリーランス	音楽専門学校、音楽大学
講師、インストラクター	音楽学校や音楽教室と契約	音楽専門学校、音楽大学
音楽教師	教員免許取得、教職員採用試験合格	音楽大学、大学
2 エンターテイナー		
ダンサー	プロダクションと所属契約、フリーランス	専門学校、芸術大学
声優	プロダクションと所属契約、フリーランス	専門学校、芸術大学
ユーチューバー	フリーランス	専門学校、芸術大学
3 クリエイター		
作詞家、作曲家、アレンジャー	フリーランス、プロダクション & レーベルと所属契約	音楽専門学校、音楽大学
マニピュレーター、プログラマー	フリーランス、プロダクション & レーベルと所属契約	音楽専門学校、音楽大学
サウンドクリエイター、トラックメーカー	フリーランス、プロダクション & レーベルと所属契約	音楽専門学校、音楽大学
アニメーター	アニメ制作会社	専門学校、芸術大学
4 コンサート制作		
音響 (PA)、照明、映像スタッフ	コンサート制作会社、専門会社、ホール、フリーランス	専門学校、芸術大学
ヘアメイク、衣装スタイリスト	フリーランス、プロダクションと契約	専門学校、芸術大学
舞台美術、特効	舞台美術会社、ホール	専門学校、芸術大学
コンサートプロモーター、イベンター、舞台監督	イベント制作会社、フリーランス	専門学校、芸術大学
楽器テクニシャン、ローディー	イベント制作会社、フリーランス	専門学校、芸術大学
5 レコーディング		
レコーディングエンジニア	レコーディングスタジオ、フリーランス	専門学校、芸術大学
6 楽器、機材		
楽器製造、機材製造	メーカー、フリーランス	大学、専門学校
クラフトマン、リペアマン、ピアノ調律師	メーカー、フリーランス	専門学校、音楽大学
7 レーベル、プロダクション		
アーティスト・マネージメント、A&R	プロダクション	大学、専門学校
プロデューサー	プロダクション、レーベル	大学、専門学校
グッズ製作	プロダクション、レーベル	大学、専門学校
ファンクラブ運営	プロダクション、レーベル	大学、専門学校
8 メディア		
テレビ、ラジオ	テレビ局、ラジオ局	大学、専門学校
映像 (撮影、編集)、MA	テレビ局、映像制作会社、結婚式場など	大学、専門学校
音楽雑誌編集者、音楽ライター、音楽評論家	音楽雑誌出版会社、フリーランス	大学、専門学校

音楽やエンタメの業界紹介イベント

どんな仕事があるのかな？
まだ知らないことがいっぱい！

音楽／エンタメ業界 EXPO 2021

将来の進路選択技を広げよう

11/3 午前10時～午後4時

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

入場無料・予約制

主催：特定非営利活動法人 (NPO 法人) 全国学校軽音楽部協会
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会
埼玉県教育委員会、他予定

参加：専門学校東京ビジュアルアーツ、日本工学院専門学校、昭和音楽大学、東邦音楽大学、宝塚大学

主催者枠 (テレビ業界、音響業界、照明業界、イベント制作業界、レコード業界、楽器業界より各社) …他、随時更新中。

※最新情報は、下の QR コードよりホームページをご覧ください

参加には事前登録が必要です！

詳細と事前登録はコチラ！→

音楽／エンタメ業界 EXPO 2021

開催日：令和3年11月3日 (祝・水) 午前10時～午後4時

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

入場：無料。予約制

主催：特定非営利活動法人 (NPO 法人) 全国学校軽音楽部協会
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、千葉県教育委員会
埼玉県教育委員会、他予定

参加：専門学校東京ビジュアルアーツ、日本工学院専門学校、昭和音楽大学、東邦音楽大学、宝塚大学

主催者枠 (テレビ業界、音響業界、照明業界、イベント制作業界、レコード業界、楽器業界より各社) …他、随時更新中。

※最新情報は、下の QR コードよりホームページをご覧ください

職業としての 音楽／エンタメ業界 2021



業界インタビュー

- 専門学校 ESP エンタテインメント東京
- 楽器リペア／メンテナンス
- 専門学校東京ビジュアルアーツ
- 専門学校名古屋ビジュアルアーツ
- 日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校
- サウンドクリエイター
- テレビや映像に関する仕事
- サウンドクリエイター
- 大阪芸術大学
- 音響 (PA)
- ボーカリスト
- コンサート制作

専門学校 ESP エンタテインメント東京

何が得意なのかを見つけること！

音楽やエンターテインメントにまつわる職業は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。そこで、今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を専門学校 ESP エンタテインメント東京の澤田吉剛さんに伺いました。

— ここ数年、人気のあるコースは何ですか？

澤田：最近では、DAW 系…いわゆる自分たちで作品をクリエイターする「サウンドクリエイター」と「レコーディング」が圧倒的に人気です。ボーカルやギター、ベースなどの、いわゆる「プレイヤー系」よりも自分たちで作品を創るクリエイター、もしくはミキサーや録音機器を操作しながら仕事にあたるレコーディングエンジニアを志望する学生が多いと感じています。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

澤田：音楽に限らず、多くの専門学校では、授業は初心者に向けたものからスタートしますので、入学した段階で「ギターをバリバリに弾けないといけないのか？」とか「Mac をある程度は触れないといけないのか？」という心配は必要ありません。最初は初心者向けの授業から始まりますが、最終的には業界への就職を目指す学校ですので、どんどん高度なことを学んでいきます。「専門学校は初心者に向けた学校」ということを理解してもらいたいと思います。

— 音楽／エンタメ業界でニーズが高く、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか？

澤田：ギターの製作や管楽器の修理など、圧倒的に「技術系」の成り手が足りていません。お店で楽器を修理したり、メンテナンスをしたりする販売店のリペアマンが不足しています。コロナ禍による「巣籠もり需要」もあり、楽器の売上が伸びているメーカーでは、工場の生産体制が追いついていないところもあるなど、人手が足りないのはエンドユーザーに近い部分なのかな…と感じています。

— 音楽／エンタメ業界で、これからニーズが高くなりそうな職種やスキルはありますか？

澤田：例えば、ギタリストやボーカリストを

目指している子たちにとっては、YouTube で簡単に映像を公開したり、音源も自分たちで編集／録音をし、配信まで行うなど、すべてをセルフ・プロデュースできるので、それが仕事につながりやすくなっています。ですので、パソコンを使った作曲や録音、ミックスのスキルなどを持っておくと、アーティスト志望の場合はとても良いと思います。スタッフ系については、コロナ禍でライブに関する仕事場が減ってきている部分もあるのですが、その中で台頭しているのが「配信ライブ」です。レコーディングや配信に詳しい人が技術職として引っ張りだこなので、何かをクリエイターする仕事や「パソコンが使える」というのは、今後もニーズが高まってくると思います。

— ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どのような職種がありますか？

澤田：最近では、ある芸能プロダクションにマネージャーとして入社し、某有名アーティストのマネジメントを担当している卒業生がいます。ただ、近年はオーディションを受けて、それに合格し、デビューを目指す…という学生もいるのですが、それよりも在学中から SNS のインフルエンサーとして活動したり、TikToker として発信していると、それが大きな話題となり、芸能事務所に所属…という例も増えてきています。また、技術職で言うと、楽器店に就職している学生が多いかなという印象があり、本校では、母体である

ESP の工場に勤務する卒業生もいます。

— 音楽／エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3 つほど教えてください

澤田：現時点でスキルを持っていなくても、何も心配ありません。いつでも学び、手に入れることができるからです。そのため、成功するための 1 つ目の秘訣は「正しい知識を身につけられる環境にいること」ではないでしょうか。専門学校での学びでも良いですし、「身近なところに業界で仕事をしている人がいる…」というのでも構いません。そういった環境に身を置くことが大切だと思います。

2 つ目は「その仕事を続けていきたいか？」というのを突き詰めて、高校生のうちから考えておくことです。後悔しない将来設計をするためにも、まずは希望する職種に関することを知っておくことが大切だと思います。

3 つ目は「自分の強みを知っているか？」です。例えば、近年のオーディションでは「コーラスができるギタリスト」や「ラップができる声優さん」など、自分の仕事にしたいと考えていることにプラスして、もう 1 つ得意なことがあると、それが仕事に直結するシーンが多くなっています。自分の好きなことを突き詰めていきつつ、他にも得意なことやスキルを伸ばしていけると、成功する確率がグッと高くなるので、まずは自分が何が得意なのかを見つけることが大切だと思います。



▲ DAW を使ったサウンドクリエイターコースが人気です



▲ ギターを製作したり、修理したり…も学ぶことができます

楽器リペア／メンテナンス

楽器リペア／メンテナンス 豊崎貴志さん (toyo guitar)

仕事は周りの人との信頼関係が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はギターの修理やメンテナンスをされている豊崎貴志さんに今の仕事に就いたキッカケや大切にしていること、やり甲斐などを伺いました。

ー お仕事について教えてください

豊崎：僕の仕事はアーティスト（ミュージシャン）の楽器をお預かりしたり、音楽業界の様々な関係者から依頼を受けて、自身の工房にて楽器の修理やメンテナンスを行うことです。プロ、アマチュアを問わず、日頃から様々なミュージシャンの楽器を手がけています。時にはオーダーメイドの楽器製作の依頼もあり、修理業務をこなしながら、お客様の楽器製作も行っています。

ー 高校卒業以降、どういう経緯で今のお仕事に就いたのですか？

豊崎：キッカケは高校時代なのですが、ギターを弾き始めると同時に「改造」と呼ばれる分野に興味を湧き、ギター雑誌のカスタマイズ紹介やピックアップによる音の違いのコーナーなど、雑誌のそういったメカニクなページをよく読んでいました。そして、読むだけでは飽き足らず、素人ながら雑誌に倣って、いろいろと挑戦していた高校生だったんです。

軽音楽部に所属しながらそんな高校生活を送り、いざ自分の進路について考えたところ、イーエスピー学園のギタークラフト科への入学を決めました。改造だけでなく、イチからギターを作り上げるという未知の領域に魅力を感じたのが大きな理由です。ギター製作やリペアを2年間学び、卒業後は同校のギタークラフト科の講師として、8年間勤めていました。その中で築けた交友関係が今のお客様

であったり、取引のある楽器店さんにつながっています。「独立」とか「開業」という言葉にするとハードルの高い感じが出てしましますが、友人や知人からの依頼をこなしていくうちに「これなら商売になりそうだな…」という気持ちや状況に切り替わっていったような感じです。30歳手前でギタークラフト科の講師を退職し、独立することを決めました。

ー お仕事の楽しいところを教えてください

豊崎：楽器店さんのような店舗営業ではないので、個人工房には、いつでもどこでも自由に動き回れる利点があります。依頼があれば、レコーディングやリハーサルの現場に直接行って、楽器を預かったり、その場で修理を行うこともあります。楽曲制作やコンサートが作られるまでの過程を実際に見られるのは大きな刺激になりますし、その一端を担っていると思うと、プレッシャーもありますが、ミュージシャン本人やスタッフの方に喜んでもらえた時には、何にも替えがたい達成感があります。その現場で有名人に会えると、さらに嬉しいですね！（現場ではクールを装っていますが、家に帰ると妻に自慢します／笑）。

ー お仕事の大変なところを教えてください

豊崎：お客様の大切な楽器なので、とにかく失敗が許されないというプレッシャーが常にのしかかります。失敗しないための準備、対策、実験など、今でもいろいろと勉強しながら進

めることがあります。一体、いつ本体に触るんだ…という場面もしばしばあります（笑）。

細かい話になってしまいますが、ギターには修理箇所以外であっても、どうしても起こり得るようなトラブルが多数存在します。そのことを事前に説明して、お客様にご理解いただく必要があります。事後のトラブル／クレームを未然に防ぐことが大切です。

ー お仕事を継続していく上で、大切にしていることは何ですか？

豊崎：不測のトラブルが起こった時に嘘をついたり、ごまかさないこと、誰かのせいにはしないことだと思います。仕事は周りの人との信頼関係が大切なので、正直に話して、謝るべき時には素直に謝る、誠意を持ってその対応にあたるのが一番だと考えています。「お客様が安心して頼める」「次もお願いしたい」…そう思ってもらえるような努力は日々怠らず、未だに勉強中の身です。経験は積みつつも、プライドは積み上げない。頑固オヤジのラーメン店みたいな工房にはならないように心がけています（笑）。

ー このお仕事は、どんな人にオススメですか？

豊崎：楽器は、とても派手なものだと思いますが、作り上げるまでにはコツコツと地味で、地道な作業の連続です。最初から最後まで、そうかもしれません。修理も当然同じことが言えますが、そんな地味で地道な作業に、とことん向き合える凝り性な人、没頭できてしまうような人にオススメだと思います。地道にやった分だけ、仕上がった時の感動は大きいですし、そこに快感が得られます。さらに、その感動をお客様と共有できる楽しみもあるなど、モノづくりや職人の世界には、そんな魅力やマニアックさが詰まっていると思います。音楽好きの人はもちろんですが、楽器自体のことにも興味をお持ちの人には踏み込んでみてほしい世界です。



▲夢中で続けていたことが仕事になったと話す豊崎さん



▲豊崎さんの作業デスク。ここで様々な作業が行われます

専門学校東京ビジュアルアーツ

ポイントは好きなことの「深さ」です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。そこで、今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を専門学校東京ビジュアルアーツの木村さんに伺いました。

— ここ数年、人気のあるコースは何ですか？

木村：本校では音楽総合学科のうち、いわゆるスタッフ系のコース…「PA コース」「照明コース」「レコーディングコース」が人気で、ミュージシャンの分野では「サウンドクリエイターコース」を志望する学生が急激に増えている印象です。数年前までの同コースはゲーム音楽を作ったり、いわゆる「職業作曲家」のような要素が大きかったのですが、最近はサウンドクリエイターを志望しながらも「歌いたい!」とか「楽器を弾きたい!」という学生が増えており、時代の流れもあり、少し「サウンドクリエイター」の意味合いが変わってきていると感じています。入学者が伸びてきている要因として考えられるのは、「ボカロP」のような人たちが職業として、形になってきている部分が大いだと思います。これまでは「趣味の延長」のようなイメージで捉えられていたと思うのですが、現代では立派な仕事として成り立っている、時代の変化を感じています。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

木村：スキルや知識がないから…といって、心配する必要はまったくありません。音響や照明、レコーディングの分野に関しては、ほとんどの学生が初めて体験することばかりです。一方のサウンドクリエイターやミュージシャンのコースは楽器の演奏経験がある方が良いのは間違いありませんが、楽器が弾けないから

といって、授業についていけない…ということはありません。

— 音楽／エンタメ業界でニーズが高く、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか？

木村：今、人手不足が叫ばれているのは「映像」の分野です。コロナ禍で無観客配信が一般化したことも手伝って、ライブハウスでの公演は配信がメインになっている部分があり、お店のスタッフが配信のことを勉強し、手がけているところが多くなっています。映像の専門業者をお願いをして、外注でライブ配信を行っているところもありますが、どうしても費用がかかってしまいます。そのため、そういった予算が確保できないところでは、ライブハウスのスタッフが兼業で配信を行っており、「PA もやれますが、映像も少しわかります!」という人がライブハウスで大活躍していると聞いています。実際、「そういう人はいませんか?」という求人の相談が本校にも届いています。正真正銘の映像のプロフェッショナルが欲しいわけではなく、ライブハウスの運営スタッフとして働きつつ、映像の知識もある…という人が求められているようです。

— ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どういう職種がありますか？

木村：学生時代にギター&ボーカルをやっていた子が「NS エンタテインメント」という会社でアシスタント・マネージャーの仕事をし

ていたり、イベントホールの設備や機材の管理・修繕をはじめ、ホールの空き状況を管理する仕事に就いている卒業生がいます。いずれもミュージシャン分野の卒業生です。「PA コース」では、音響機器メーカーの「ヒビノ」やプロオーディオの総合プロダクションである「タムコ」が人気です。「レコーディングコース」では、渋谷にある「Bunkamura Studio」に例年研修でお世話になっており、そのまま内定をいただくことが多い傾向にあります。

— 音楽／エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3 つほど教えてください

木村：文字にしてみると、当たり前のように思われてしまうかもしれませんが、秘訣は「挨拶」「時間厳守」「どれだけ音楽が好きか?」という3 つだと思います。いずれも常識で、簡単のように聞こえますが、ポイントはそれらの「深さ」だと思っています。

例えば、「挨拶」といっても、「おはようございます!」と元気に言えたから良いのではなく、コミュニケーション能力を駆使して、ちゃんと目を見ながら、そこから「いかに話を膨らませることができるか?」という点が大切です。

「時間厳守」についても、決められた時間ちょうどに到着するのではなく、10 分前には着くようにしておくなど、「+α」の能力や配慮が必要だと思います。

3 つ目の「どれだけ音楽が好きか?」という点は「実際に現場で仕事をしている人たちと同じくらいに音楽が好きか?」という観点で考えることが重要です。「好き!」と口にするのは簡単なことですが、それは自分の中の物差しでしかないので、「誰よりも音楽が好き!」というくらいまでのめり込み、好奇心を持って臨むことができる姿勢が大切です。

この3 つの要素を高校生のうちに身に付けておけると、音楽やエンターテインメントのどの業種や仕事でも続けていくことができ、自分の夢に近づけると思います。



▲サウンドクリエイターを志望する学生が増えています



▲表現者としてのスキルやノウハウも学ぶことができます

専門学校名古屋ビジュアルアーツ

好きになったことを継続する力が大切

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。そこで、今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を専門学校名古屋ビジュアルアーツの大野さんに伺いました。

— ここ数年、人気のあるコースは何ですか？

大野：本校は総合校なので、5つの学科があるのですが、中でもミュージシャン学科の「ボーカルコース」が人気です。また、ここ数年は音響学科の「サウンドクリエイターコース」も入学者数が伸びています。今は個人で音楽作品を創り上げることができる時代なので、そういった点が背景にあると考えています。他にも、コロナ禍で一気に加速した面もあるのですが、映像関係の仕事の需要がとて高まっているので、映像学科とパフォーミングアーツ学科の「声優コース」も根強い人気があります。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

大野：本校では、どの学科も入学してから業界で必要になる知識や技術を基礎から指導しますので、どの学生も同じスタートラインから出発します。ただし、ミュージシャン学科に関しては、フィジカル・トレーニングを行うのは早いに越したことはありませんので、この世界に進みたいと考えたタイミングから先行しておいた方が良いでしょう。ミュージシャン学科では「オリジナル曲を作る」という点に力を入れており、作詞・作曲・DAW（レコーディング）に関するノウハウをイチから指導しています。基礎的な部分から始めますので、スキルがないからといって、授業についていけないことはありません。



▲現場実習を通して、音響や照明のスキルを磨きます

— 音楽／エンタメ業界でニーズの高い、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか？

大野：先ほどの話に通じる部分があるのですが、ミュージシャンの分野では、ほとんどのレコードメーカーが作詞や作曲など、作品を生み出す力や自己表現力のある人を求めています。「自分から発信することができる人」へのニーズが高まっていますので、本校でも、そういったスキルをバックアップできるカリキュラムを用意しています。他にも、コロナ禍で「映像制作」の分野の人手不足が叫ばれています。コンパクトに映像を作れる人…外出をしなくても、自宅などで、ある程度のCG技術を駆使しながら、少人数で映像コンテンツを作れる人も求められています。また、配信コンテンツへの理解力や発想力に長けた若手へのニーズも大きくなっているような状況です。

— ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どのような職種がありますか？

大野：本校の傾向でもあるのですが、卒業生に人気の高い職種としては弾き語りのミュージシャンになる学生が多いです。また、いわゆる「ベッドルームミュージック」と言われる、自宅で作品を創り上げるような形態のアーティストもどんどん生まれています。若い子たちはパーソナルなスペースから生み出された音楽を好んで聴いているのが背景にあるのではないのでしょうか。エンタメ業界の就職先に関しては、アーティスト活動をしながら、



▲アフレコルームで声優コースのMV撮影中

別の活動も手がけている…いわゆる「スラッシャー」と呼ばれる人たちが増えています。1つのことに限らず、「これをメインにしているけれど、あれもこれもできます!」という働き方をする人の割合が高まっており、本校でも、総合校として他学科の授業を受けることができるようにしています。音楽活動をしているけれど、動画編集もできたり、ミュージックビデオを撮影する側にもなれるなど、いろいろなスキルを持っている人が仕事を生み出し、ビジネスを展開しているのが、ここ数年の傾向だと思います。

— 音楽／エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3つほど教えてください

大野：新しいトレンドが入り込み、常に変化し続ける業界なので、これ!という秘訣を明確にできない部分もあるのですが、普遍的に変わらないものもあると思います。1つ目は「考え方」や「業界に必要な知識」です。業界に直結できるような環境に身を置いたり、自分が望んでいる職種や仕事に必要な知識を正確に得られるかがポイントになります。

2つ目は本校のモットーでもあるのですが、「好きを力に!」という観点です。やはり好きになったものには、とても大きなエネルギーや明確な意思があります。好きになったことを学びに昇華させ、研究していくことで、それが自身のコンテンツになり、発信していけるようになるので、まずはとことん好きになることが重要だと思います。

3つ目はどんな仕事に就いたとしても、「継続する力」が必要になります。古い言い方になりますが、「石の上にも3年」という諺があるように、何か人にメッセージを届けたり、寄り添うことがエンターテインメントの醍醐味の1つです。瞬発力だけでなく、発信し続けると人の心には届かないので、好きになったものを続けていく、人に届くまでやり抜く力が大切なのではないでしょうか。

日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校

アンテナを張り巡らせておくこと！

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。そこで、今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校 入学相談室の山川さんに伺いました。

ー ここ数年、人気のある学科・コースは何ですか？

山川：近年はミュージックカレッジの「コンサート・イベント科」の入学人数が右肩上がりに増えています。コロナ禍の影響もあり、業界が低迷しているにもかかわらず、コンサート・イベント分野に特化したコンサート・イベント科が一番人気です。他学科になりますが、特筆すべき点は「ミュージックアーティスト科」のサウンドクリエイターコースです。ボカロPやアニソンの流行をはじめ、YouTuberやVtuberの台頭もあり、サウンドクリエイターとして「作曲を学びたい」「作品を作りたい」という意思を持って進学する学生が増えている傾向にあります。

ー 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

山川：演奏スキルや知識も必要になりますが、それ以上に、まずは自分が目指したいと考えている業界はどういう世界なのか、どんな仕事があるのかという「業界研究」や「職業理解」を深めてもらいたいと考えています。本校には、それらの理解をサポートする授業やカリキュラムが揃っているので、安心していただければと思います。

ー 音楽／エンタメ業界でニーズの高い、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか？

山川：近年は、ライブ配信のニーズが増えて

いるので、そういう場面でのITやICTのスキルに精通している人が求められています。例えば、「音楽」と「IT」を組み合わせ、新しいプロモーションを展開したり、音楽と音楽以外のものの組み合わせから新しい需要やビジネスチャンス、価値を生み出すなど、「プロデュースする力」やアイデアを実行に移す「行動力」のある人が求められています。

ー ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どのような職種がありますか？

山川：レコード会社やプロダクション、レコーディング・スタジオ、コンサート・プロモーター、イベント会社など、卒業生の就職先は多岐に渡ります。就職活動として、何よりも大切なのは先ほどお話しした通り、「業界研究」や「職業理解」です。実際に就職を希望する業種がどんな世界で、どういった業務を手がけているのか。具体的にどんな会社があるのかをリサーチすることが重要なので、就きたい仕事を明確にするためにも、これらの理解を深めることが大切だと思います。

ー 音楽／エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3つほど教えてください

山川：大切なのは「一人でも多くの人に何かを伝えたい」という気持ちや「音楽やエンターテインメントの分野で表現をしたい！」という熱意や意思を持っているか、ということだと思います。

2つ目は、「探究心」です。ここ数年、これまでの流行が繰り返されているところがあり、例えば、最近は80年代のファッションやトレンドが注目されていたり、数年前は90年代や70年代のリバイバルが盛んに行われていたなど、音楽も同じで、そうやって当時の流行がループしながら、新しい音楽が生まれていると思います。どこかに懐かしいエッセンスが入っていたり、世代ごとにグッとくる要素が盛り込まれているなど、単に「これまでになかった新しいものを作りたい!」というのではなく、きちんと音楽のルーツを辿りながら、現代の作品をブラッシュアップすることで、新しい音楽が生まれる…という、これまでを振り返る姿勢が大切ではないでしょうか。また、「あの曲の、あのメロディーがグッとくるのは、こういうことだったんだ!」というようなルーツを探ることも本校のカリキュラムで行っています。「こういう仕掛け(トリック)があるから、大勢の人たちに受け入れられ、盛り上がっているんだな…」という分析や感動を生むための種明かしを探るのも勉強の1つなので、たくさんの音楽に触れることも重要です。

3つ目は、探究心に関連する部分になりますが、これまでになかった新しいものを生み出す想像力…「クリエイティビティ」です。例えば、最近ではYOASOBIのようにウェブ小説に着想を得て、音楽として表現するアーティストが誕生しているように、テレビやアニメに端を発して、小説やマンガだけに留まらず、ウェブの世界だけで表現をしたり、「どうやったら、こんな新しい発見ができるの?」と驚くようなアーティストもいるなど、作品のフックとなるコンテンツやトピックは多岐に渡っています。そういったものを拾い上げる力や新しい発見を見つけられる嗅覚が必要になるのではないのでしょうか。いろいろな分野にアンテナを張り巡らせておくことが、結果として、音楽や自身の活動に良い影響を与えてくれると思います。



▲バンド形式でのアンサンブルレッスンを受けます



▲各社の事業紹介の説明を聞く「音楽系企業セミナー」

サウンドクリエイター

仕事は周りの人との対話が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はサウンドクリエイターの仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツの榎木（ちしゃき）さんに伺いました。

ー サウンドクリエイターの仕事について教えてください

榎木：「音楽を作る仕事」というのは次の2つに分類することができます。1つは作曲をメインとする「コンポーザー」という職種で、自身の楽曲を制作したり、第3者に提供するなど、純粋に曲を作る仕事を言います。もう1つはゲームやアニメをはじめ、映画やCMなど、ある作品に付随した音楽全般を作る仕事で、そこに従事する人たちのことを「サウンドクリエイター」と総称しています。ここ数年、サウンドクリエイターを志望する学生が増えているのですが、人気の背景にあるのは、SNSをはじめとするツールでの「動画投稿」にあると思います。例えば、米津玄師さんが好例だと思うのですが、「良い歌だな…」というところから始まり、「この人はどういう仕事をしているんだろう？」とか「普段は何をやっているんだろう？」という風に調べてみると、自身で歌って、作曲をして、編曲をして、動画を編集して…と、すべてをこなしているんですね。そういった部分からも、サウンドクリエイターという職種が身近に感じられているのではないかと思います。

ー 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

榎木：専門学校は何も知らない状態で入学しても、しっかりと授業を通じて指導し、卒業させる…というのが1つの目的ですので、特

に必須の知識やスキルというはありません。ただ、「あれば良いな…」というスキルはあって、例えば、パソコンで作曲をするので、パソコンの操作に慣れていないと、最初の段階で戸惑ってしまうかもしれません。音楽ソフトでなくても良いので、「パソコンの基本的な操作に慣れておく」というのは、やっておいた方が良いでしょう。

ー この仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

榎木：音楽が好きで、作曲に興味があつて…ということで就く職業ですので、まず仕事そのものが楽しいと思います（笑）。やりがいの部分で言いますと、いろいろな人たちに自身の音楽を聴いてもらうことになるので、そこも楽しいと感じる点ではないでしょうか。

ー この仕事の大変なところを教えてください

榎木：作品に携わるという立場上、「締め切り」のある仕事なので、どうしても時間に追われてしまうという部分では、大変に感じることもあると思います。また、一から作品を生み出さなくては行けないので、どうしても煮詰まったり、アイデアが思い付かないという時にも大変な思いをすることがあります。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

榎木：ネットサーフィンが得意な人にオススメです。例えば、何か気になることがあったら

調べ物をしたり、物事を掘り下げていける人というのが、作曲の仕事に向いていると思います。というのも、曲が出来上がったら、「はい、おしまい」ではなくて、そこから何回も「こうしたら良いんじゃないか？」とか「こっちの方がもっと素敵かも…」という風に見直しをしたり、改善を繰り返していくことになります。「はい、曲が完成した！さあ、次だ！」というのではなく、どんどん掘り下げていける人の方が性格的にも合っていると思います。

ー サウンドクリエイターとして、仕事をするために大切な要素は何でしょうか

榎木：1つ目は「コミュニケーション能力」です。意外と作曲やモノを作る仕事というのは自分一人で作るイメージがあるかもしれませんが、実はたくさんの人たちとコミュニケーションを取りながら進めていくことになるので、周りの人と対話をしながら仕事にあたるのが大切です。

2つ目は言い方が難しいのですが、「頑固さ」のようなものが必要になります。繰り返しますが、いろいろな人たちと関わることになるので、当然、様々な意見を聞くことになります。音楽は人によって捉え方や好みが変わるものなので、その際に自分自身の中に「芯」がないと、「自分はどのような作品を作りたいのか？」ということを見失いがちになるので、そういう意味での、頑固さが必要だと思います。

3つ目は「持続する力」です。ここ数年、サウンドクリエイターの人気が高まっているほか、定年というのがなく、ずっと続けていくことができる仕事なので、人数も増えていきます。そういった中で、簡単に辞めることはできますが、ある1つのことがうまくいかなかったからといって、そこですぐに諦めるのではなく、どんどん努力を重ね、ずっと続けていくことが大切なので、持続力も必要な要素の1つだと思います。



▲ゲームやアニメなどに付随した音楽を作る仕事です



▲パソコンやキーボードを駆使して楽曲を制作します

テレビや映像に関する仕事

こだわりを持つことが大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はテレビや映像に関する仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツの内藤さんに伺いました。

ーテレビや映像の仕事について教えてください

内藤：非常にたくさんの職種があるので、すべてを説明することはできないのですが、テレビを例に挙げると、番組を作る上での中心になる「制作スタッフ」という仕事があります。その中にアシスタント・ディレクターやディレクター、プロデューサー、もっと細かいところでは、リサーチャーや編集マン、MA、音響効果、放送作家といった職種が挙げられます。その制作スタッフの両脇を固めるのが、「技術スタッフ」と「美術スタッフ」です。カメラや音声、照明などが技術系の仕事で、大道具や小道具、持ち道具、メイク、衣装などが美術系の仕事になります。細かい部分の言い方の違いや、さらに細分化されるものもあると思いますが、テレビをはじめ、映画やミュージックビデオ、CMなどの「映像を制作する」という仕事で考えると、制作・技術・美術の3つに分類することができます。

ー入学前に、ある程度のスキルや知識は必要ですか？

内藤：番組制作や技術、美術に関する仕事は、なかなか高校生のうちから体験したり、経験できる分野ではないので、特に必要なスキルや知識はありません。ただ、「高校生の間にやっておいた方が良いことはありますか？」という質問をいただくことが多いので、そこでお伝えしているのは、テレビや映画、ミュージックビデオやYouTubeなど、プロが制作した番組や

作品をただ見るのではなく、様々な視点で視聴する姿勢をオススメしています。制作の裏側であったり、「どういう意図で、こういう番組構成にしているのだろうか?」「どんな手法で、こんな撮影をしているのだろうか?」という点に注目したり、気にしながら視聴するのは高校生のうちから実践できると思います。ポーツとテレビを見ながら笑うのではなく、制作の背景を意識しながら視聴することができると、そこから新たな興味が湧いたり、意欲が高まってくるものなので、オススメです。

ーこの仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

内藤：1つ目は、いろいろな職種や業種の方々と仕事ができるのが、やりがいの1つに挙げられます。ミュージシャンや俳優、お笑い芸人やタレントなど、芸能界で活躍されている方をはじめ、専門家の監修が必要な番組の場合は医師や弁護士、国家公務員や大学教授など、なかなか普段は話を聞くことができなかったり、接することがない方々と仕事をすることができます。2つ目は、特にテレビの仕事に言える部分なのですが、視聴者の反応がダイレクトに伝わってくる点です。例えば、自分が担当した番組はオンエアを確認するのですが、その際にTwitterで視聴者の投稿をチェックしています。テレビ番組や映像媒体というのは視聴してくれた人たちの感想をダイレクトにキャッチしやすいメディアなので、そこが仕事のやりがいにも直

結すると思います。

ーこの仕事の大変なところを教えてください

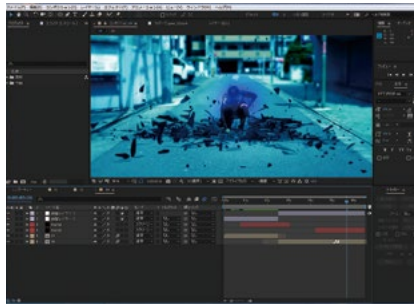
内藤：一概には言えない部分もあるのですが、テレビにしろ、映画や映像作品にしろ、いわゆる本番までの「仕込み」の部分が最も大切であり、大変に感じる部分だと思います。撮影の開始／終了時間をはじめ、こだわりたい部分や修正が必要など、編集にあてる時間もかかるため、いわゆる「9時に出社して、18時に退勤…」という世界ではない、勤務体型が特殊な業界です。また、特に地上波の番組は撮影や編集のタイムリミットがとてもシビアなので、そこへのプレッシャーもあると思いますが、それらを上回るくらいに楽しくて、面白い業界です。

ーこの仕事は、どんな人にオススメですか？

内藤：好奇心が旺盛な人に向いていると思います。テレビや映画をはじめ、映像作品全般に言えることですが、「面白い」「感動した」「すごい」と視聴者が口にするなど、この業界は人々の感情に問いかけていく部分が大きい世界です。その際、新しいアイデアを盛り込んだり、切り口を変えてみるのが大切であり、これまでやってきたものを続けていくだけでは飽きられてしまうので、想像力を駆使できる人や何事にも興味や関心を持てる姿勢が重要です。また、特に映画やミュージックビデオは最新技術や表現方法を積極的に取り入れる分野なので、そういった業界の動向やトレンド、新しい技術にも目を向けていくことになります。結果的に、それが興味や関心、好奇心につながるように、どんな部分にも「こだわりを持つこと」が大切です。これが「仕事」ではなく「作業」になってしまうと、どんどん質が低下し、つまらないものになってしまいます。映像制作に関わる仕事というのは、いわゆる1つの「表現者」ですので、どんな番組にしろ、作品にしろ、こだわりを持って臨む姿勢が必要だと思います。



▲照明や最新の映像技術を駆使したライブの実習の様子



▲撮影した映像に特殊効果を施す技術も授業で学びます

サウンドクリエイター

相手の要求を汲み取れる力が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はサウンドクリエイターの仕事について、日本工学院専門学校のミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコースの下條先生に伺いました。

ー サウンドクリエイターの仕事について教えてください

下條：ポップスの曲を作ったり、アーティストに楽曲を提供したり、一方では、ゲームの音楽を作ったり、テレビやニュースのBGMを制作するなど、端的に言うと「音楽（音）を作る仕事」です。ユニークなところでは、映画やテレビ番組などに臨場感を与える「フォーリーサウンド（効果音）」を作ること。サウンドクリエイターが手がけており、例えば、刀が「カキン、カキン」と鳴っているイメージに近い音を作るのも仕事の1つです。

ー 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

下條：専門学校では、基礎的なところから学校のカリキュラムで指導を行うので、楽器の演奏やパソコンでの音楽制作が未経験でも、まったく問題なく進められるような環境を整えています。高校生のうちからやっておいた方が良いのは「たくさんの音楽を聴く」ということでしょうか。なぜかと言うと、人間は見たり、聞いたりしたものからしか、アウトプットができないんですよね。今まで聴いてきた楽曲や音楽ジャンルが元となり、多種多様なメロディーやコード進行、アレンジなどを生み出すことができると思うので、ぜひ選り好みをせずに、いろいろな音楽を聴いておくことをオススメします。

また、これは教員としての私のポリシーで

もあるのですが、本当に良い作品やアレンジしか誉めないようにしています。何でもおだてて、褒めてしまうと、それ以上の能力を引き出せなくなってしまうと考えており、あえて厳しい目で評価し、本当に「良いな！」と思ったものしか褒めないように心がけています。それに、言われた側の本人も、場合によっては100%納得していないものの、作品を提出した…ということがあると思います。それなのに「良いね！」と言われてしまうと、あまり良い気持ちがせず、不完全燃焼に終わってしまうと思うので、学生とはシビアに向き合っています。

ー この仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

下條：仕事の大半を一人で行うものなので、どうしても大変に感じたり、しんどくなってしまうことがあります。ですが、そういう思いをしながら作った曲がリリースされ、いろいろな人たちが聴いてくれたり、「良かったよ！」といった感想が聞けた時はホッとした気持ちになり、「作って良かったな…」という風に、やりがいを感じます。

ー この仕事の大変なところを教えてください

下條：作業自体は一人で行うのですが、その先には依頼者である「クライアント」がいます。その方々と一緒に仕事を進めていく中で、相手は音楽や楽曲制作の知識や経験が豊富な

わけではないので、先方からの要求や難題を噛み砕いて、最大限に良い結果を出せるようにしないといけない部分が大変に感じます。ここのボタンを掛け違えていると、出来上がった結果が望みのものではなかった…となり、残念な結果に終わってしまうので、相手の要求を汲み取る姿勢が大切です。

ー サウンドクリエイターとして、仕事をするために大切な要素は何でしょうか

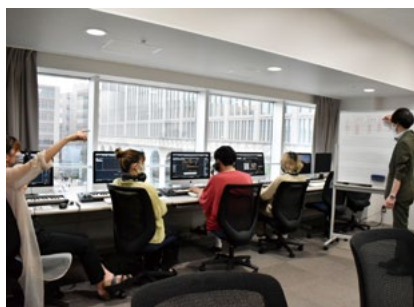
下條：1つ目は「向上心」だと思います。音楽はファッションと同じで、日々進化を続けており、どんどんシーンが変わっていくものなので、そういった部分にしっかりとアンテナを向けられて、適応することが大切です。楽曲の作風も、ずっと同じようなものばかりを作るのではなく、ヒップホップやローファイなジャンルも手がけるなど、幅広く対応していける姿勢や柔軟さが必要だと思います。

2つ目は「円滑なコミュニケーション能力」です。楽曲を制作したり、アレンジを施していく上で相手の要望を汲み取り、それを表現していくことがとても大切です。また、表現が抽象的になってしまった際に、相手が本当に伝えたいことをうまく誘導し、解決に導いてあげる「気遣い」も必要な要素の1つだと思います。

3つ目は、仕事全般に言えることかもしれないのですが、「楽しめるかどうか？」という点です。サウンドクリエイターの仕事は一人で部屋にこもって作業をすることが多いので、思い通りのものができないと、気持ちが暗くなったり、焦ってしまうことがあります。ですが、そんな大変な状況の中でも、良いフレーズができた時に「やった、できたぞ！」という風に一人で小躍りができると良いですね。単純なことではあるのですが、そういった少しの変化を楽しめたり、自分の作品を好きになれるポジティブな思考の人というのが、この仕事に向いていると思います。



▲カリキュラムに基づき、基礎的な部分から丁寧に指導



▲DAWソフトを駆使し、楽曲やBGM、効果音を制作

大阪芸術大学

目線を 30 度上げてみましょう！

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、芸術大学で学び、自分の可能性を広げるのも選択肢の 1 つです。今回は「SUPER NEW」というキャッチフレーズのもと、新しく生まれ変わった大阪芸術大学の音楽学科について、学科長である作曲家・音楽プロデューサーの高田先生に伺いました。

ー 新しく生まれ変わった音楽学科について教えてください

高田：私は大阪芸術大学を卒業後、28 年近く音楽制作や音楽ビジネスの現場にいたので、音楽に対する目線や視座が、これまでの先生方と少し違っているかもしれません。レコード制作から放送通信まで、あらゆる分野で音楽制作を経験してきた中で、学生が学んでいることをいかに世の中に結びつけていくのか…という部分では、私なりの様々なアイデアを持っているつもりです。こういったアイデアを学生と一緒に具現化していくことは、これまでになかったことかと思ひますし、今後の音楽学科に大きな変化をもたらすと確信しています。例えば、学生が先生に対して「私、作曲家になりたいんです」と相談したとすると、それに対して、その世界で実際に仕事をしている人であれば、より説得力のある話ができるのではないのでしょうか。その点、大阪芸術大学の先生方は実際に現場で活躍されている方々ばかりですので、プロの方々の直接的な指導で、実践的な内容を学べることは非常にアドバンテージが高いのではないかと思います。

それに関連して、私は大学の授業が世の中とリンクした内容になっていることが重要だと考えています。例えば、今は YouTube や Apple Music、Soptify をはじめ、中学生や高校生、大学生でも、自分の作品を世界に向けて発信し、販売できるような時代になりま

した。その際に一番トラブルになるのが「ライセンス」にまつわる問題です。「原盤権は誰のもの?」「著作権はどうなるの?」「出版権って何?」「YouTube に投稿したけれど、警告が出てしまった。どうすれば良いの?」など、学生にとっては難しく、ハードルが高いように感じてしまいがちですが、「作曲」というのは、それらの諸権利と切っても切り離せない関係にあることを理解し、仕組みを学ぶことが大切です。ところが、こういった重要な部分を日本の音楽大学や芸術大学は深く掘り下げようとせず、学生にもきちんと教えないのが実際のところではないのでしょうか。その点、本学の音楽学科では自分の作品や演奏、研究といったものが、どのように社会的な接点を持てるのか。どのように世の中に発信していくか、ということにおいて「SUPER NEW」なカリキュラムを通して、学生たちを未来に導いていけたら…と考えています。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか? 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

高田：本学は芸術大学であり、とりわけ音楽学科を目指すのであれば、楽典に関する基礎知識や理論等を高校時代に学んでおくのは「やっておいて良いのに越したことはない」と思いますが、私が何よりも重視したいのは「音楽に対する姿勢」です。いくらピアノやギター、ドラムなどの演奏が上手でも、それを「どう

やって世間に向けて発信するか?」と考える視点や姿勢がない限り、それは楽器を演奏する才能がないのと変わらない状態だと思います。よく学生から「音楽の世界で成功するためには、どうしたら良いですか?」「今の僕に何が足りませんか?」という質問を受けるのですが、私は「それは簡単なことだよ。挑戦するか、しないかだけ。挑戦した人は成功する確率が上がるけれど、挑戦しなければ、才能がないまま埋もれていってしまうだけだよ」と答えるようにしています。ですので、あまり深く考えないで、失敗しても構わないから、大学 1 年生のうちから挑戦し、自分の作品を発信し続けることが大切だと伝えています。

ー 音楽／エンタメ業界で仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか

高田：一概には言えない部分もあるのですが、一番求められるのは「コミュニケーション能力」の高さだと思います。例えば、オーディションで候補者が同点で、同じようなポテンシャルを持っている場合、その人のコミュニケーション能力を評価するのです。これは音楽に限ったことではありませんが、「笑顔 1 つで、どれだけ相手の心の中に入っていけるか?」「質問に対する受け答えや目線、表情はどうか?」などの人柄や姿勢まで、「常に相手から見られている」というのを意識することが大切です。

また、皆さんが抱えている夢や目標の「目線」を常に上げることを意識して欲しいと思います。高校野球を例にすると、甲子園のグラウンドに立つことが目標の高校と、甲子園で優勝することが目標の高校とでは、自ずとスタートラインが違ってきますよね。同じ高校野球でも、甲子園に出るための練習と甲子園で優勝するための練習ではトレーニングのメニューや質が異なるように、今まで抱えてきた夢や目標を達成するためには、今の状態をキープするのではなく、少し上…「目線を 30 度くらい上げてみよう!」という風に伝えています。



▲音楽学科学科長の高田耕至先生。「音の可能性が劇的に広がっている今、音楽学科も新しく生まれ変わりました」

音響 (PA)

現場ごとに達成感を味わえます

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は音響 (PA) にまつわる仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツの音楽総合学科／PA コースの井上さんに伺いました。

— 音響 (PA) の仕事について教えてください

井上：PA は「Public Address」の頭文字を取っており、日本語にすると「公共に伝達する」という意味の和製英語です。そのため、海外で「PA」と言っても意味が通じません。日本の場合、PA という仕事は、基本的には「マイクロフォンを使用して、スピーカーから拡声する」というのがベーシックにあります。音楽業界やコンサート業界をはじめ、いろいろな音楽に接するような印象を持たれるかもしれませんが、基本的には拡声をする仕事です。たまたま拡声する素材が音楽なのであれば音楽業界に属するだろうし、芝居やミュージカルの音響をはじめ、結婚式や披露宴、大きなシンポジウムや会議などでもマイクロフォンを使って拡声をするので、これらもすべて「音響」としての仕事になります。

仕事の形態としては、いわゆる会社組織に属することが大半なので、サラリーマンです。フリーランスで仕事をしている方もいますが、基本的には会社員になり、その企業が請け負っているコンサートやツアーの仕事だったり、ライブハウスの音響の委託業務だったり、ホールやホテルなどの音響業務など、サラリーマンとして自社の業務に従事します。

— 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？ 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

井上：知識やスキルなどは入学後に学べるの

で、特に必要ないのですが、音響で扱うのは「物理」や「電気」にまつわることなので、そのあたりに苦手意識がないと良いと思います。軽音楽部に所属している皆さんにとっては「ギターやベースって、こんな音が出るよね」「ポータルってマイクを口に近づけないと、音が小さくなってしまふよね」というのを理解しているだけで、すごく有利に働くと思います。

— この仕事の楽しいところを教えてください

井上：コンサートやイベント、ツアーなどが何日も続くこともあるのですが、基本的には、その日だけで終わる仕事が大半です。その達成感をいろいろな現場で味わうことができるのが、この仕事のすごく楽しいところであり、やりがいを感じる部分だと思います。「明日は、また別の現場だ！」という風にリセットして、仕事に臨めるのも、この仕事ならではの特徴です。また、同じアーティストの音響業務であっても、ホールやライブハウスによって音の広がり具合や聴こえ方がまったく変わるので、そういったことに対処するのも面白いと感じるところです。「Funny」の楽しさではなく、「Interest」の楽しさや好奇心が掻き立てられる部分だと思います。

— この仕事の大変なところを教えてください

井上：体力的にキツく感じたり、考え方に慣れるまでは大変だと思います。朝が早くて、終わるのは夜遅く…という部分や機材の扱い

方を覚えるのも大変なのですが、慣れてしまえば、大したことはありません。一番大切なのは「人に慣れる」という部分です。どの仕事にも言えることなのですが、例えば、コンサートを例に取ると、自分は音響担当でも、決して1人で仕事をしているわけではなく、そこにはアーティストをはじめ、ステージスタッフや照明さん、映像さん、舞台監督さんなど、たくさんの方々が関わって、1つのコンサートを構成しています。ですので、いろいろな人たちと仕事をする上で、意見を聞き、意思疎通を図る「相手を認知する」という姿勢が欠かせません。普段から良い人間関係を構築しておくことが大切です。また、意思表示をしっかりとすることも、慣れるまでは大変かもしれませんが、「良いのか、悪いのか」「できるのか、できないのか」をハッキリと言わないと相手に伝わらず、誤解が生じてしまうことがあるので、緊迫した状況ほど、自分の考えや意見をしっかりとと言わないといけません。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか

井上：体力に自信があるのはもちろんなのですが、それは精神的にも丈夫でないとはいけません。例えば、アーティストのツアーやフェスなどに帯同すると、何日も家に帰れなくなってしまいます。仕事が終わると移動したり、ホテルで過ごすことになりますが、必然的に仕事以外の逃げ場がなくなってしまうので、そういった環境に耐えられなくてはなりません。ですので、自分なりのリフレッシュの仕方やストレスの捌け口を見つけておくことが大切です。また、好きなことに従事していたり、好きな格好ができるとはいえ、やはり「仕事(ビジネス)」ですので、決めたことは守らなければいけないし、周りの人とコミュニケーションを取りつつ、真摯に仕事に向き合い、決断する際は瞬時に判断するなど、ビジネスマンとしての素養も忘れてはいけません。



▲ミキサーなどの機材を操作し、音を拡声する仕事です



▲現場実習ではコンサートやフェスの音響に携わります

ボーカリスト

「好き」を追求する姿勢が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はボーカリストにまつわる仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツのミュージシャン学科／ボーカルコースの村屋さんに伺いました。

ー ボーカリストの仕事について教えてください

村屋：一般的に知られている部分では、ボーカリストとしてメジャーデビューをする、というのが大きいと思いますが、形態という観点では、ソロの弾き語りやバンドのセンターボーカルとして、また、最近では「歌ってみた」に代表されるようにYouTubeやTikTokから発信し、収入を得ている方もたくさんいます。これらが表方の仕事だとすると、裏方は、例えば、カラオケで人気の楽曲に「歌入り（ガイドボーカル）」の仕事をしているボーカリストはたくさんいますし、アーティストのバックコーラスとしてレコーディングに参加したり、コンサートやテレビに出演する方もいます。それから、我々のような音楽専門学校でボーカル講師として学生に授業を行ったり、ボイススクールでの講師業（ボーカルトレーナー）も歌を扱う仕事の1つです。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？ 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

村屋：まったくのゼロから始める学生も多いので、知識やスキルなどを心配する必要はありません。ただ、高校生のうちからやっておいた方が良いことは、やはり「腹式呼吸」ですね。運動部で言う筋トレのようなもので、ボールを打つ筋肉なのか、投げる筋肉なのか、速く走る筋肉なのか、という感じで「いかに呼吸や腹筋をコントロールできるか？」とい

う部分が、歌う際の声量や声の伸びに関係します。ですので、腹式呼吸は高校生のうちに会得しておくとうまいと言えます。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

村屋：僕はギターから始めたのですが、ボーカリストとして活動するようになって感じたのは、「歌」はダイナミックでありながら、自由度が高いということです。ボーカルは言葉とメロディーと体全体で表現することができるパートなので、それで拍手をいだけたり、賞賛を浴びたり、SNSで「いいね！」が貰えるというのは、自分を褒めてもらっていることにつながるんですね。「歌を聴いた人たちに認められている」「自分の居場所がある」というのが1つの自信になり、やりがいにつながると思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

村屋：自分の体が最強の武器であり、唯一のツールでもあるので、どうしても歌声を否定されてしまうと、自分の人格も否定されているような気持ちになるところでしょうか。ボーカルの場合は裸一貫で勝負をしているようなものなので、徐々に慣れてくるのですが、「ちょっと音程がね」とか「高音が届いていないよね」と言われてしまうと、とても凹んでしまうことがあります。僕も学生を指導する際は、そういった部分の伝え方に注意しているのですが、それらを上回るくらいに楽しい

ことの方が多く、自分が作ったものを表現して、周りの人たちから賞賛を受けるというのは、この上ない喜びと幸せを感じる瞬間です。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

村屋：感受性が豊かで、何事にも興味のある人が向いていると思います。ボーカリストというのは、わがままだし、寂しがり屋だし、周りの目や世の中の流れに敏感なんですよ。でも、そういう人種だからこそ、あまり人が気づかない部分を見つけることができたり、相手の気持ちを汲み取ることに長けていると思います。「嬉しい」とか「悲しい」という感情には何段階ものフェーズがあるように、そういった感受性の豊かな人は表現の度合い（バリエーション）も豊富なので、この職種に向いているのではないのでしょうか。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

村屋：ボーカリストは歌唱法やステージでの表現方法をどんどん進化させていけるので、世の中の流行や音楽シーンに敏感であることが大切です。

2つ目は、どんなことにも言えるのですが、「好きなこと」をトコトン追い求めていける力です。これが簡単なようで難しく、ずっと続けていくためには、やっていることを好きにならないといけません。

3つ目はアスリートと一緒に、体が「資本」なので、トレーニングも然り、よくプロのアスリートが言うように、努力を努力と思わずに継続できる姿勢が大切です。例えば、レコーディングの直前に喉がかすれてしまっていたら、それでは仕事になりません。ギターやベースであれば、弦のサビは交換すれば良いのですが、ボーカリストは日々の体調管理も含め、「仕事だから」という風に、普段からストイックに「自分の体を守るぞ！」という強い精神力が大切だと思います。



▲バンドでのアンサンブルについて学びます



▲ボーカルの村屋先生から直接アドバイス

コンサート制作

企画の立案から運営までを行います

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は「コンサート制作」にまつわる仕事について、日本工学院専門学校のコンサート・イベント科／コンサート制作コースの森永さんに伺いました。

ー コン서트やイベント制作の仕事について教えてください

森永：アーティストのワンマンライブから日本各地を回る全国ツアーやフェスへの参加に至るまで、多様化したコンサートやイベントの企画立案から運営までのすべてを行う仕事です。具体的には「人」「モノ」「お金」「時間」の管理を行います。また、イベントを開催する会場が大きくなると、それに伴うスタッフの人数も増えます。すると、食事や備品等の数も増えるので、必然的に経費も増える…という具合に、すべてが連動しています。それから、想像力を働かせて「ひょっとしたら、こうなるかも…」ということを考え、その対策を先に立てておくこともあります。例えば、「イベントの本番に台風が来たらどうする？」とか「アーティストが体調不良になったらどうする？」など、あらゆる危機に対する管理能力が必要になり、それらを仕事を通して鍛えることができるのも、この仕事の一面です。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良くても教えてください

森永：プロとして音楽業界で働くということでは、自分の好きな音楽だけに関われるということではないので、まずは「さまざまな音楽を知っておく」ということが大切です。つまり、普段は聴かないような音楽もたくさん聴くようにしてください。また、アーティストと会

話する際に「あのアーティストの、あの演出！」などの話題が日常会話でも出てくることが多いので、洋楽まで手広く知っておくと、アーティストとの信頼関係を早く作ることができます。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響で「ライブ配信」をする際の「映像」の知識も必要となりました。演出としての映像や収録としての映像などは切っても切れない関係ですので、映像作品（映画やMVなど）もたくさん知っておいた方が良いでしょう。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

森永：楽しいことはたくさんありますが、一番はコンサート会場で見えるお客様の笑顔やアーティストの笑顔を見た時です。「こんな素敵な空間を作る一員になった！」という気持ちは、この仕事の醍醐味です。また、自分が関わったイベントがテレビで放送されたり、映像作品として商品化されたりすることも多く、時にはスタッフ欄に自分の名前が掲載されることもあるので、自分の仕事を誇り高く思える瞬間も多くあります。それから、全国ツアーに出る制作仕事の場合、ご当地の名産や、その土地でないと体験できないことも多々あるので、仕事をしながら地方の魅力を感じることもあります。コンサート制作は人と多く関わる仕事なので、日本全国に幅広い人脈ができるというのも他の仕事にはない部分だと思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

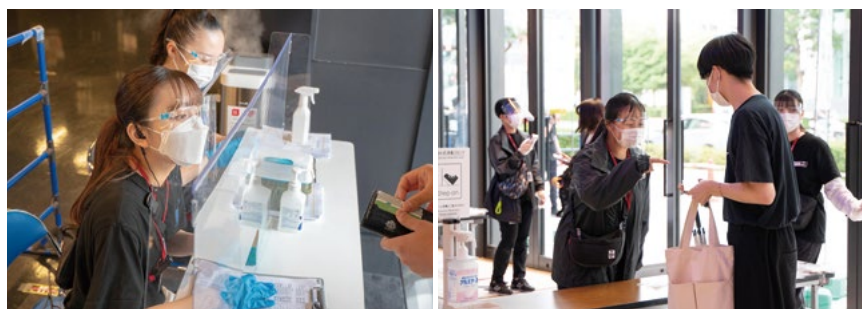
森永：一番大変なのは「急な変更が多い仕事」という部分です。曲順や演出などのステージに関わることもあれば、悪天候で中止や延期などの運営に関係することまで、「ライブが終了するまでは何が起るかわからない」という懸念を抱えながら仕事をするのが大変な部分です。また、アーティストによって準備するものや段取りが違うことも多いので、現場によって正解が変わります。「前は褒められたことでも、今回は必要がなかった」ということも日々あるので、自分のモチベーションを保ちながらも仕事を先に進めないといけな部分も大変なことの1つかもしれません。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

森永：「とにかく音楽が好き！」ということが基本にありつつ、「人のためになりたい！」というホスピタリティーがある人にオススメです。「人見知りだし、いろいろな人とコミュニケーションを取りながら、物事を進めていくのは自分には無理かも…」と思っていても、日々強制的に人と交流することになります。すると、気が付いたら「なりたかった自分」になっていたりするので、「人見知りを直して、音楽の仕事に携わりたい！」という人にもオススメです。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

森永：コンサート制作の仕事は「懲りない」「めげない」「驕（おご）らない」が大切です。また、この仕事は華やかな反面、大きなプレッシャーもかかります。その重責を楽しめる「楽観性」と絶対に失敗できないことへの「責任感」という、一見相反するよう見えますが、この2つのバランスも大切です。また、感染症の影響で今までの常識が通用しなくなっている現状もあるので、新しい発想や感性を持つことも今後は大切になると思います。



▲ Zepp Haneda (TOKYO) と KT Zepp yokohama での外部実習ライブ

愛知県／中部地方の高校軽音楽部が集結！

**2021年の部活動の締めくくりに
大きなステージで演奏しよう！**

**出場バンド
募集中**

**11/1(月)
締切**



写真は前回のグランプリ受賞バンド「名古屋市立名東高等学校／痙攣」です。演奏動画はこちらで見ることができます



愛知県大会



中部大会

第10回

愛知県高等学校 軽音楽大会

12/25(土) 10:00-18:00 (予定)

会場：名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）
主催：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
愛知県高等学校軽音楽連盟
参加対象：愛知県高等学校軽音楽連盟に加盟の高等学校音楽
系部活動に所属するバンド

第5回

高等学校軽音楽 コンテスト 中部大会

12/26(日) 12:00-17:30 (予定)

会場：名古屋文理大学文化フォーラム（稲沢市民会館）
主催：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団
参加対象：愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、長野県、山梨県
新潟県、富山県、石川県、福井県の高等学校音楽系
部活動に所属するバンド

大会までの流れ

大会までの流れ	締 切	
	愛知県大会	中部大会
応募受付開始	9/6(月)～	
書類・演奏動画提出 ※提出をもって、大会申込となります	11/1(月)	
演奏動画審査発表	11/8(月)	11/15(月)
予選ライブ／予選参加費納入	11/13(土)	—
大会出場バンド決定	11/15(月)	
大会参加費納入	11/19(金)	
出場バンド対象バンドクリニック ※中部大会は希望するバンドのみ(有料)	11/20(土) ※	
大会説明と出場順の抽選 ※中部大会はリモートで行います	11/20(土)	11/27(土) ※
大会プログラム掲載情報提出	11/30(火)	
大会当日	12/25(土)	12/26(日)

※詳しくは大会要項をご覧ください

連絡先

特定非営利活動法人

全国学校軽音楽部協会

TEL 045-913-0901 / FAX 045-913-1900
Email info@keionkyo.org

これまでの
大会映像は
こちら



YouTube

中学校・高等学校軽音楽部 顧問通信 VOL.36 | OCT・2021

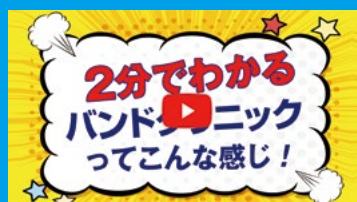
**新型コロナ
ウイルス感染症
対策実施中**

デジレコ編集部があなたの高校に参上!

DiGiRECO BAND CLINIC

デジレコ・バンド・クリニックはデジレコ・ジュニアや顧問通信の取材として、高等学校の軽音楽部をよく知る講師がアンサンブルのアドバイスをしたり、音響や電気の初歩的な知識やサウンドチェックの仕方、全体練習の紹介、軽音楽部員としての心得など、実施校の要望に応じて講座のメニューを組み合わせる自由度の高いクリニックです。

効率的な練習の方法から、楽器／機材の基礎知識、バンド演奏のアドバイスまで…。軽音楽部にまつわることなら、なんなりとご相談ください。軽音楽部のコンシェルジュとして皆さんのお役に立てると思います。ご相談は顧問の先生を通して行ってください。



第104回 京都府立城南菱創高等学校 フォークソング部

〒611-0042 京都府宇治市小倉町南堀池



第104回目のデジレコ・バンド・クリニックの実施校は京都府宇治市にある京都府立城南菱創高等学校です。西宇治高等学校と城南高等学校が統合され、2009年に開校した同校は部活動が盛んで、運動部は12部、文化部も10部があり、各部とも活発に活動しています。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、午後から実施しました。はじめに、当協会の理事長がクリニックの趣旨や講座の流れを説明し、講師としてご協力をいただいた大阪音楽大学の浜崎州平先生も挨拶を述べられました。

フォークソング部の部長と顧問の小野先生からも歓迎の挨拶をいただくと、早速、座学を開始。「部活動としての軽音楽部を考える」と題し、「軽音楽部の評判」「軽音楽部の定義」「部活動としての軽音楽部のあり方」という3つの観点から自校のことを振り返り、部活動は学校教育の一環であり、普段の授業では学べないことを補完する「課外授業」であることを紹介しました。具体的には「楽器の演奏やバンド活動を通して、コミュニケーションとチームワーク、クリエイティビティーを磨くことができます」と紹介。「それらを通して、社会が求める人材の素養を身につけることができるのが、軽音楽部の素晴らしいところの1つです」と述べたほか、「部活動の1つなので、軽音楽部だけは特別であり、何を

したって良いということはありません。行動規範は他の部活動と同じでなければならず、挨拶や身だしなみ、時間厳守といった学校生活の決まりを守るのはもちろん、常に周りの人たちから見られているということを意識して、行動してください」と話しました。

休憩を挟んで、「音と音響と電気的基础知識」の座学を実施。マイクからミキサーを通り、パワー・アンプを経由して、スピーカーから音が出力される仕組みを図解で紹介したほか、ギター・アンプのつまみ(BASS/MIDDLE/HIGH)の役割をはじめ、オーバードライブやディストーション、コーラス、ディレイといったエフェクトの種類と効果を1つずつ解説。波形の違いについても学び、実際に音を聴きながら、その違いを理解しました。また、それぞれの楽器の音が被ってしまい、すっきりとしたサウンドにならない理由や「音の抜け」を良くするためのコツも紹介し、楽器にはそれぞれの帯域というのがあり、バランスよく役割分担をすることで、サウンドが明瞭になることを学びました。

第3部は当協会の副理事長による「アンサンブルが良くなるための練習方法」に関する座学です。当日はビデオで講義を行い、普段の練習を目的別に仕分けすることの大切さを解説。「アンサンブル=合奏」であるという原点に立ち、良い合奏を目指すのがバンド練習の目的であり、個人の技



▲座学の講義はプロジェクターを使用し、視聴覚室で実施



▲ボーカルがメンバーの方を向き、バランスを確認しました

術的なスキルとバンド全体の合奏のスキルは似て非なるもので、良い合奏をできるバンドが良いバンドであることを説明。「計画性と責任感を持って臨むことが重要です」と述べました。

クリニックの最後はバンドごとのアンサンブルの実習です。1バンド/20分という持ち時間で演奏を披露。演奏後はイントロやAメロ、サビだけ…とブロックごとに再演奏し、細いポイントを確認したほか、「まだまだ自分の楽器を演奏するのに精いっぱい…という演奏でした。目線が手元に落ち、演奏もバンド内で完結してしまっています。まずはしっかりと前を向き、目線も少し先を見るようにしましょう」「全体的にうまくコピーができており、良い演奏でした。もっと良くするには、例えば、スネアのオープン・リムショットの精度を上げたり、ルート弾くベースは最後の音までキッチリと弾いてから移行しましょう。すると、演奏にムラがなくなり、タイトなサウンドになります」といった具体的なアドバイスを伝えました。

2バンドの演奏が終わり、滞りなくすべての講義が終了。閉会式では「軽音楽部はプロ・ミュージシャンの登竜門でもなければ、養成する場所でもありません。1つのことに一生懸命に打ち込んだ経験は必ず人生の糧になり、切磋琢磨した仲間が一生の宝物です。ぜひ皆さんの手で城南菱創高校の伝統を紡いで、次の世代に伝えていってください」と話し、閉会しました。



デジレコ編集部があなたの高校に参上!

DIGIRECO BAND CLINIC

第105回 愛知県立豊田西高等学校 ギター部

〒471-0035 愛知県豊田市小坂町14-65



第105回目のデジレコ・バンド・クリニックの実施校は愛知県豊田市にある愛知県立豊田西高等学校です。同校でのクリニックの開催は3回目となります。「躬行実践（自ら求めて、自ら学ぶ）」を校訓に掲げ、学生は日々学習や学校行事、部活動に全力で取り組んでいます。

感染症拡大防止の観点より、クリニックは午後からスタート。前回の実施は2021年1月だったため、1年生は初めての受講になります。まずは1年生を対象に「軽音楽部員としての心構え」について当協会の理事長が紹介したほか、「アンサンブルが良くなるための練習方法」や「軽音楽大会の様子」はビデオを視聴する形で行いました。心構えに関する講義では「部活動は学校に認められた、課外授業の一環としての取り組みです。軽音楽部はサッカー部や野球部、吹奏楽部や合唱部などと同じく、学校の部活動の1つです。軽音楽部は、たくさんの音楽に触れられたり、オリジナル曲の制作に挑戦することで、かけがえのない宝物が得られるなど、クリエイティブな側面も持ち合わせているのが特長です。また、視聴覚室や音楽室が使えたり、公式大会に出場できたり、他校の軽音楽部と演奏を通じて交流したり、先輩や同級生、顧問の先生から客観的なアドバイスがもらえるなど、得るものがたくさんあるのも部活動ならではの大きなメ

リットです」と紹介。運動部や他の文化部と同じように、コミュニケーションやチームワークも育むことができるなど、部活動の基本や軽音楽部の特色を例を交えながら解説しました。

当協会の副理事長によるアンサンブルの講義では、普段の練習を「個人のスキルアップのためなのか」「バンド全体で合わせるためなのか」「ライブの本番を想定したものなのか」という風に見直し、練習の要点を明らかにすることで、限られた時間の中で取り組む練習の目的が明確になり、効率よくスキルアップが狙えることを紹介。練習時はリズムやグルーブ、キメやシンコペーション、ダイナミクスや音量に注意し、「バンドでないと確認できないことに注力すべきです」と提案しました。

13時になり、2年生も合流したところで、開会式を実施。クリニックの開催趣旨やタイムテーブルを説明したほか、講師として協力をいただいた専門学校名古屋ビジュアルアーツの村屋光二先生と大野真之介先生も挨拶を述べられました。

その後の「音と電気と音響の初級講座」では、マイクロフォンから入力された電気信号がミキサーを通り、パワー・アンプを経由して、スピーカーから出力される仕組みをはじめ、マイクやダイアフラムの構造、マイクの指向性やハウリングが起こる要因などを解説。エレキ・ギターやエレキ・ベースはコイルが弦の振動をキャッチし、それが電気信号となり、シールド・ケー



▲開会式ではバンドクリニックの趣旨や半日の流れを説明



▲村屋先生の講座では体全体を使って発声する手法を解説

ブルを伝えて、アンプに送られることも紹介しました。次の「DAWを使ったバンドのバランス調整」に関する講義では、個々の楽器の周波数や、その帯域を理解することでバンドのアンサンブルが聴こえやすくなったり、聴こえにくくなることもあり、「いかに楽器同士の帯域が被らないようにするか？」が重要であることを、DAWソフトを使用しながら解説しました。その後、各教室に移動し、パート別のレッスンを実施。ボーカル&キーボード、ギター&ベース、ドラムの3つに分かれ、基礎的な運指練習や自宅できるトレーニング方法、腹式呼吸のコツやスティック・コントロールなど、クリニック後も実践できる練習について学びました。

最後は、代表バンドによるアンサンブルのレッスンです。1バンド/30分という持ち時間でオリジナル曲とSPYAIRの楽曲を演奏し、理事長や村屋先生、大野先生が講評や今後につながるアドバイスを伝えました。具体的には「各パートの音量が大きすぎて、最初から最後まで『全力投球!』という感じでした。もう少し音量の差によるメリハリが付けられると、さらに良い演奏になります」「ボーカルはハキハキと元気いっぱいに歌う歌唱法ですが、楽器陣の演奏にキレがないと、一気にサウンドが締まらなくなります。ぜひリズムを大切にしながら、楽曲の世界観を演出してください」とアドバイスをし、閉会しました。



デジレコ編集部があなたの高校に参上!

DiGiRECO BAND CLINIC

第106回 日本大学明誠高等学校 音楽部

〒409-0112 山梨県上野原市上野原3200



第106回目のデジレコ・バンド・クリニックの実施校は山梨県上野原市にある日本大学明誠高等学校です。東京都や神奈川県から通学する生徒が大半を占めている同校の歴史は古く、設立は1960年です。部活動は運動部の種類が多く、野球部やバスケットボール部、陸上競技部や卓球部などが活躍しています。

定刻となり、クリニックのスタートです。当協会の理事長がクリニックの開催趣旨や全国の軽音楽部の様子を説明し、講師として協力をいただいた専門学校国際新堀芸術学院の白井健一先生も挨拶を述べられました。

音楽部の部長や顧問の三松先生からも歓迎のメッセージをいただくと、座学へと移行。まずは「部活動としての軽音楽部を考える」と題した講座です。プロジェクターを使用し、「軽音楽部の評判を上げるには?」「部活動としての軽音楽部のあるべき姿」「部活動を通して得られること」などを具体例を交えながら紹介。「部活動は学校教育の一環で行われているもので、普段の授業では学べないようなことを補完する課外授業という位置づけです。野球部やサッカー部などの運動部をはじめ、吹奏楽部や美術部、写真部などの文化部と同じように、部活動を通してコミュニケーションとチームワークを育むことができるほか、とりわけ軽音楽部は楽器を演奏

し、作曲や作詞に挑戦したり、既存曲のアレンジに取り組むことで、クリエイティブ力（創造性）も養うことができます。これらは社会に出てからも必要とされるものであり、バンド活動や楽器の演奏を通して、社会人としての素養を身につけることができるのが、軽音楽部の素晴らしいところの1つだと思います」と述べ、部活動のあり方や軽音楽部の特長を説明しました。

休憩時間を挟んで、当協会の副理事長による「アンサンブルが良くなる練習方法」の講義を実施。当日は30分間の「ビデオ講義」という形で行いました。いつも何気なく取り組んでいる練習を「個人練習」と「バンド練習」と「ライブ練習」という3つに仕分けすることで、それぞれの練習の目的が明確になり、時間の節約につながるほか、効率的に上達できることを解説。さらに、練習の前に確認しておきたいこととして、「練習の内容」「楽曲の構成」「キー、コード、テンポ」「チューニング」を挙げ、あくまでもバンドでの練習中はリズムやグルーブをはじめ、ユニゾンやキメなどの全員で合わせるポイントや、ダイナミクスや音量などの表現にまつわる部分まで、「バンドメンバーがいないと確認できないことに注力するべきである」と紹介しました。

昼食休憩を挟んで、午後はパート別の基本講座を実施。ボーカル、ギター、ベース、ドラムの4パートに分かれて、基礎的な運指練習やリズム・



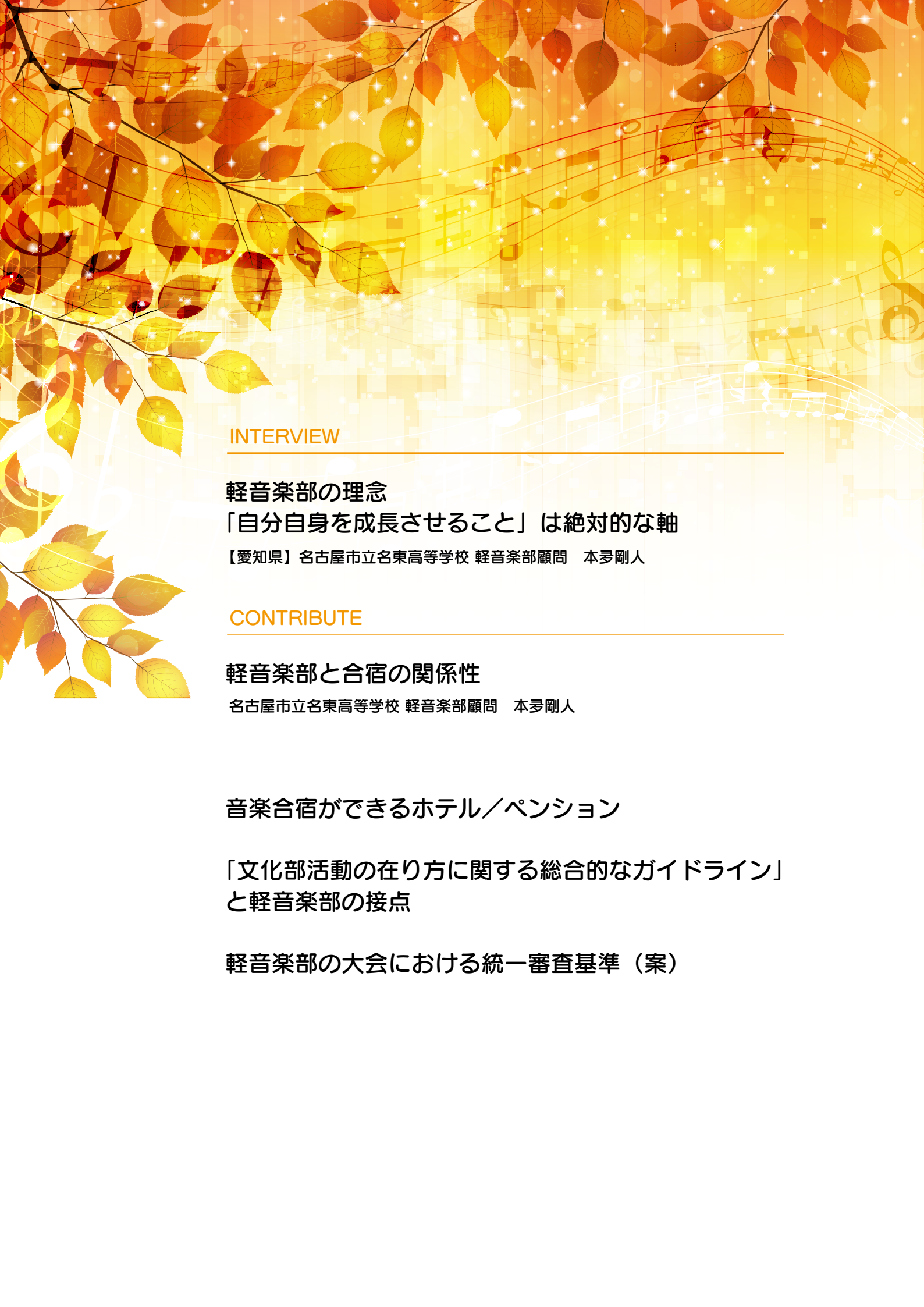
▲軽音楽部のあり方について、具体例を交えて紹介しました



▲講師の白井健一先生はオリジナル曲の作り方について解説

トレーニング、裏拍を意識したグルーブの出し方など、クリニックの開催後も実践できる練習について学びました。パートごとの基本講座の後は「オリジナル曲制作講座」です。講師の白井先生がアコースティック・ギターで40種類以上のコード進行のパターンを演奏し、気に入ったフレーズをつなげる形でオリジナル曲の骨子を組み立てる手法を紹介。「これが好きだな…」と思うコード進行に印をつけながら、曲作りの手法を学びました。

クリニックの最後は各バンドによるアンサンブルのレッスンです。当日はback numberやRADWIMPS、VaundyやKANA-BOON、yonigeなどの邦楽ロックを演奏。30分という持ち時間の中、1年生や2年生に向けてはPAスピーカーからメトロノームを流し、2拍目と4拍目のスネアドラムを叩く場所を意識しながらリズムを取ったり、足でカウントを取りながら演奏する方法を実践し、3年生に向けてはギターやベースが受け持つ「帯域」や音作りをする際に気をつけること、動きを取り入れた「魅せるパフォーマンス」のコツを紹介しました。全体に向けての講評では「演奏する際は全員でリズムを取るようにし、特にロックの場合はスネアドラムを叩くところ…2拍目と4拍目を意識できるとアンサンブルにグルーブが生まれ、サウンドもまとまるので、ぜひ意識しましょう」とアドバイスをし、クリニックは閉会となりました。



INTERVIEW

軽音楽部の理念

「自分自身を成長させること」は絶対的な軸

【愛知県】名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本郷剛人

CONTRIBUTE

軽音楽部と合宿の関係性

名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本郷剛人

音楽合宿ができるホテル／ペンション

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」 と軽音楽部の接点

軽音楽部の大会における統一審査基準（案）

軽音楽部の理念 「自分自身を成長させること」は絶対的な軸

【愛知県】名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本多剛人

全国の都市の中では、軽音楽連盟の設立や県大会などの開催が遅く、ある意味「らしい」独自の文化を辿ってきた愛知県。当協会の支援のもと、2017年から愛知県高等学校軽音楽大会が開催され、2020年4月には愛知県高等学校軽音楽連盟が設立されました。その動きに伴い、県内の軽音楽部のレベルも総合的に上がってきています。そんな中、今年7月末に行われた「第9回 愛知県高等学校軽音楽大会」と「第4回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会」の両大会においてグランプリを受賞した、名東高校軽音楽部の強さの秘密を、主顧問の本多剛人先生にお伺いしました。

▶軽音楽部の顧問になった先生の中には、戸惑われた方も多いのではないかと思います。私もそのうちの1人でした。でも、先輩の顧問の先生方や軽音協の皆さんにご教授いただきながら、他の部活動がやっていることを軽音楽部でも同じようにやっていけば良いんだ、というシンプルな結論に至りました。礼儀、挨拶、時間管理、協調性や自主性、集団での規律ある行動など…。何の部活動にしろ「強豪」と言われるような学校は、それができていると思うんです。

ます。当校の活動状況として、軽音楽部は音楽室が週に1回、2時間半しか使えないんです。他の日は、普通教室で小さなアンプを使ってアンサンブルや個人練習などの基礎的なことを行っています。週1の音楽教室でのバンド練習は1バンド30分～40分しかないので、4バンドがギリギリかなと思っています。部員数が増えれば時間配分も変わるし、軽音楽部の理念を理解しない生徒が多くいても、質の高い練習はできませんから。しかし、逆に言えばそんな環境的な制限も、周りの皆さんから「名東のハングリーさ」はそこから生まれているのかもしれないね」と最近言っていたことが多くなりました。

「名東のハングリーさ」の源

他の部活動と同じで良い

ー 愛知県大会、中部大会、両大会でのグランプリ、おめでとうございます。挨拶もきちんとされて、部としてのまとまりを感じました。

▶ありがとうございます。当校の軽音楽部は、「自分自身を成長させること」を理念としています。それが音楽であるかどうかは二の次であって、他の部活動と同じように人間的な成長のために行うんだということは、絶対的な軸として考えています。

ー 演奏にも、その理念が発揮されたチームワークが表れていたと思います。

ー 部員数を教えてください。

▶3年生は5月で引退したので、現時点で2年生が10名、1年生が9名です。学年別で2バンドずつなので、計4バンドで活動しています。春の説明会では50名近く参加者がいるのですが、その中で軽音楽部の理念を話したり、やる気を問うという意味でオーディションと称する面談を行う旨を伝えます。入部志望書を提出してもらって、意思を確認しています。入部を許可するのは、A4用紙に裏表ビッシリ書いてくるような生徒だけです。初心者かどうかはまったく問いません。

ー 人数制限をされているんですか。

▶そうですね。制限せざるを得ない実情があり

顧問としての信頼

ー 普段、どんな指導をされていますか。

▶特に何もしてないんですが、週1の音楽室での練習の時には厳しくしています。時間が限られているので、秒単位で動かないといけないんです。生徒たちも時間に対する貪欲さが生まれているようで、週1回30分の練習で何をすべきかを考えていくと、必然的に効率性を高めた動きになっていくんじゃないかと思います。

ー 直接的な指導はされないんですか。

▶私は靴を揃えろとか挨拶の声が小さいとか、人の目を見て話を聞けとか、そんなことしか言いません。「挨拶が揃わないのに音楽が揃うわけがない!」とか(笑)。そういうことの積み重ねだと思います。しかし、顧問として音楽的な指導も当然求められます。以前、出場した大会の審査員の方が「音楽には2種類しかない。良い音楽が悪い音楽かだ」と仰っていて、すごく印象に残っているんです。情熱を傾けて生徒たちと接しながら、その基準を自分の中に持つことが大切だと思っています。顧問として、演奏を聞いて「良い」「悪い」と感想を言う音楽的なセンスは必要だと思います。それが大会などの結果と同じだと、顧問としての信頼につながっていくのだと思います。



▲第9回 愛知県高等学校軽音楽大会でグランプリを受賞した名古屋市立名東高等学校 軽音楽部「瘡癩」

軽音楽部と合宿の関係性

名古屋市立名東高等学校 軽音楽部顧問 本多剛人

目的は人間的に成長すること。 その手段として音楽がある

名東高校軽音楽部を率いていく上で理念は、「目的は人間的に成長することであり、音楽はそのための手段に過ぎない」というものです。部活動は、野球部、サッカー部、ダンス部、吹奏楽部等数多ありますが、どれも教育の一環としてやっている以上、目指すものは生徒の人格形成にあると考えています。野球であっても、軽音楽であっても、顧問として見つめるべきものは同じです。挨拶、時間管理、礼節指導、規律、協調性、主体性、向上心を持つ…。今後、生徒が社会生活をしていく上で必要な要素を部活動を通じて育んでいくこと。それが目的です。

「他の部活動がやっていること」を同じようにやるだけ

昨年の夏ごろ、野球部の顧問と会話をしている中でこんな言葉がありました。「今年の野球部は夏合宿ができないので、チームとしてのまとまりがまだできていない。顧問と部員との信頼関係も作りきれしていない」。

野球部の顧問が、今年のチームをまとめ、作り上げていくのに、「合宿ができていないから」難しいのだと語っていたのです。この野球部顧問の言葉は、私たち軽音楽部の顧問に決定的なものを示唆しているように思えます。軽音楽部を、「各バンドの集合体」として捉えるか、「部全体を1つのチーム」として捉えるか、を考えた場合、あくまでも他の部活動同様、部全体を1つのチームとして、軽音楽部を作り上げていく観点に立つ、ということです。

ややもすれば、軽音楽部での合宿と聞いて、生徒のお泊り行事を増やしてあげる、あるいは、各バンドの子守に付き合っただけ、といった印象を持つ方も多いかもしれません。しかし、他の運動部などが捉えている合宿の観点で軽音楽部の合宿を捉えると、異なった見え方をしてくるのではないのでしょうか。

「規律のある集団行動」これは、どの種目であっても、強豪と呼ばれるチームに共通して見られることです。その中に含まれる礼節、挨拶、スケジュール管理、自己犠牲の精神、協調性、主体性。1つのチームを作り上げる中で、それらは一人ひとりに培われていくべきものであり、その後の人生においても、重要な原則となって彼らの人間形成に役立っていくと思います。

私はある言葉を生徒に対しても私自身に対しても、部の中で言い聞かせています。それが「凡事徹底」です。ビジネス界でも、経営理念などによく用いられる言葉であります。“当たり前”のことを、他人がマネできないほど徹底的にやる”。楽器演奏などの技術指導以前に、教育として、私たちが部員に伝えるべきことの根本はそういったところにあると考えています。

その上で、ある理念や組織における共通意識を育むのに、合宿（広く言えば宿泊研修）が効果の高いコンテンツであることは、単に学校部活動だけに限らないことだと思います。ましてや、食事の際の配膳指導、部屋の清掃、寝具の整理、生活用品の管理、衣類の洗濯、入浴など学校生活では言及しえない、日常の“当たり前”を見つめ、生徒自身を自律させ、自己管理する力を養うには、合宿が最良の場であることは言うまでもありません。

部活動における真の「手段」と「目的」とは何か

昨今、このような出来事がありました。当初予定していた軽音楽部の合宿の日程と、ある大会で勝ち進んだ場合の上位大会の日程が、重なる可能性が出てきたのです。合宿の日程は、他顧問の引率の兼ね合いもあるため、簡単に変更することはできません。部としては、どちらかを選択せねばならない状況にありました。その際、私は迷わず「合宿を優先しよう」と判断をしました。

一般的に「大会でグランプリを獲る！」など、何らかの目的を掲げ、その目的を達成するための目標を掲げることによって、その日一日をど

う過ごすのか、どう生きべきなのか、が見えてくる。その場合、日々の練習や活動は、その目標や目的を達成するための“手段”という関係になります。しかし、私は本質的にはその両者は逆の関係にあるべきだと考えています。

つまり、真の目的は「その日一日をどう過ごすのか？」ということであり、そのための“手段として”目標がある、ということです。「目標に向かう過程をどう充実させたのか」が最も重要であり、目標を達成したかどうかは、その後の結果論に過ぎません。目標に向かう過程や、一見“手段と見える日常”が真の目的である、と考えた場合、最も重要な日常の1つが合宿なのだ、と迷いなく考えることができました。

「部活動」として軽音楽部を運営しているかが試される

先日、茨城県で開催された全国大会の折、様々な軽音楽部の顧問の先生方とお会いしました。諸先輩方との交流は私にとっても大変刺激になり、勉強になる貴重な時間となりました。その中で、同じように合宿をされているという千葉県私立学校の軽音楽部の顧問の先生とお話をする機会がありました。軽音楽部の運営にあたり、部の活動理念、入部までの経緯、教育的な方向性など、驚くほど名東高校軽音楽部と共通することがあり、感激しました。特に夏合宿を行っていることに関しては、集中的な技術特訓としての機会のためだけではなく、まず、修身の場、自律と集団行動などを身に付ける機会として合宿を行おうとしているという点で、強く共感するものがありました。

逆説的ではありますが、軽音楽部として合宿を行うことで初めて、その軽音楽部が何を目標そうしているのか、何のために合宿を行うのか、がはっきり見えてくると思います。各バンドのお泊り会として行うのか、軽音楽部を1つのチームとして作り上げるために合宿を行うのかは、顧問自身の軽音楽部に対する考え方が問われることになるのかもしれません。

音楽合宿ができるホテル／ペンション

山梨県
山中湖



音楽合宿、リハーサル、レコーディング…何でも OK！
富士山、山中湖、おいしい空気とおいしい食事が楽しめます。
夏は BBQ で盛り上がる！
デモ作りから自主制作 CD、楽器や機材、
スタジオのことなど、何でもご相談ください。



▲スタジオ



▲客室



▲客室

サウンドビレッジ

山梨県南都留郡山中湖村平野 1282-17
TEL : 0555-65-7213 FAX : 0555-65-8567
<http://www.soundvillage.co.jp>
E-mail : info@soundvillage.co.jp

担当者：大家、伊東

収容人数：100 名
客 室：14 室
スタジオ：9 部屋 ※ホールを含む
ライブホール：2 室（45 畳、34 畳）
警察：富士吉田警察署 車で 30 分
病院：平野診療所 車で 5 分

群馬県
尾瀬岩鞍



スタジオは 24H 音出し OK！
冬はスキー・スノーボード（レンタル有り）、
春から秋は BBQ や流しソーメンなどのイベントもあります。
お気軽にお問い合わせください。



▲スタジオ



▲スタジオ



▲ホール

シーハウスヨシミヤ

群馬県利根郡片品村土出 390-1
TEL : 0278-58-7114 FAX : 0278-58-7269
<http://www.oze.gr.jp/~yosimiya/>
E-mail : sy7@beige.ocn.ne.jp

担当者：星野

収容人数：80 名
客 室：13 室
スタジオ：6 部屋
ライブホール：1 室（60 畳）
警察：尾瀬交番 車で 10 分
病院：星野医院 車で 12 分

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」 と軽音楽部の接点

平成30年12月に文化庁によって策定された「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」は同年3月にスポーツ庁より策定された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に準じています。これらは近年、部活動に関しての様々な問題に対して検討されたもので、本来、部活動は教育の一環であり、社会人としてのスキルを学ぶためのものだという考え方が根底にあります。軽音楽部には、文化庁のガイドラインとの接点を多く見ることができます。その接点のいくつかを一覧にしてみました。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 副理事長 辻 伸介

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

1 適切な運営のための体制整備

(2) 指導・運営に係る体制の構築（抜粋）

イ 学校の設置者は、各学校の生徒や教師の数、部活動指導員の配置状況や校務分担の実態等を踏まえ、部活動指導員を積極的に任用し、学校に配置する。（中略）服務（校長の監督を受けることや生徒、保護者等の信頼を損ねるような行為の禁止等）を遵守すること等に関し、任用前及び任用後の定期において研修を行う。

ウ 校長は、文化部顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教師の他の校務分掌や、部活動指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう留意するとともに、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。

カ 都道府県、学校の設置者及び校長は、教師の文化部活動への関与について、「学校における働き方改革に関する緊急対策（平成29年12月26日文科科学大臣決定）」及び「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（平成30年2月9日付け29文科初第1437号）」を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

教師の負担軽減と外部人材の参画

軽音楽部では、他の部活動のように「レギュラーと補欠」という図式ではなく、全員がそれぞれバンドというグループに所属して活動します。もちろん、各パートごとに別れて基礎練習などを行うこともありますが、先輩バンドが後輩バンドにアドバイスをする、異学年と一緒にバンドを組むなど、軽音楽部ならではの先輩後輩の良好な関係が生まれやすく、自然と異学年の交流が盛んになります。

また、基本的に生徒の自主性・主体性が不可欠な軽音楽部においては、今後、部活動指導員をはじめ外部人材の積極的な参画が進めば、さらに教師の負担軽減につながります。顧問の指導に頼りすぎず、生徒だけでも持続可能な運営体制が確立されます。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

(1) 適切な指導の実施（抜粋）

イ 文化部活動の指導者は、（中略）過度の練習が生徒の心身に負担を与え、文化部活動以外の様々な活動に参加する機会を奪うこと等を正しく理解するとともに、生徒の芸術文化等の能力向上や、生涯を通じて芸術文化等に親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能等の向上や大会等での好成績などそれぞれの目標を達成できるよう、分野の特性等を踏まえた合理的でかつ効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。（後略）

4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備

(1) 生徒のニーズを踏まえた文化部の設置（抜粋）

ア 校長は、学校や地域の実態に応じて、現在の文化部活動が、性別や障害の有無を問わず、生徒の多様な潜在的なニーズに必ずしも応えられていないことを踏まえ、技能等の向上や大会等での好成績以外にも、友達と楽しめる、適度な頻度で行える等、生徒が参加しやすいような多様なレベルや生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる文化部を設置する。（後略）

合理的、かつ効率的・効果的な活動と生徒のニーズ

軽音楽部はバンドごとに活動するため、楽器の演奏技術向上や合奏することに重きをおきたい、ライブを行うことや大会に出場することを目標にしたい、オリジナル楽曲作成やレコーディングを行って音源制作に力を入れたい…といった、多様なニーズに応えることができます。やり方によっては、期間を設けて様々なことにチャレンジしたり、各々が自由に活動を広げることができ、部活動への過度な傾注やバーンアウトすることなく、軽音楽という文化芸術活動を続ける基礎を育みます。

また、軽音楽部に性別や障害による差別はなく、メンバー間に活動への温度差が生じたりした場合でも、チーム分けを変更すれば、部活動を継続させることも可能です。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備（抜粋）

(1) 生徒のニーズを踏まえた文化部の設置

イ（前略）単一の学校では特定の分野の文化部活動を設けることができない場合には、生徒の部活動参加の機会が損なわれることがないよう、複数校の生徒が拠点校の部活動に参加する等、合同部活動等の取組を推進する。また、持続可能な活動を確保するため、長期的には従来の学校単位での活動から一定規模の地域単位での活動も視野に入れた体制の構築が求められる。（後略）

4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備（抜粋）

(2) 地域との連携等

ア 都道府県、学校の設置者及び校長は、家庭の経済状況にかかわらず、生徒が芸術文化等の活動に親しむ機会を充実する観点から、（中略）地域の人々の協力や体育館や公民館、美術館・博物館などの社会教育施設、劇場、音楽堂等の文化施設の活用や芸術文化関係団体・社会教育関係団体等の各種団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域における持続可能な芸術文化等の活動のための環境整備を進める。

合同部活動などの取り組みの推進

軽音楽部は活動の単位がバンドという小さなグループであるため、他の部活動よりも地域での合同部活動の展開も可能です。バンド同士の交流はもちろん、互いにメンバーを入れ替えてのセッションなども比較的容易です。それは、コンダクターの指示や譜面どおりに演奏を再現することが目的ではなく、生徒自らがコード・ネームを使用したり、創作力を持って演奏することが多い軽音楽部だからできることです。他パートへアイデアを出し合ったり、合奏の構築を普段から自主的に行っているからこそ可能なことだと言えます。

また、同じ理由から、地域のお祭りや老人ホームへの慰問、公共施設での演奏会など、地域との連携が比較的容易です。機材のセッティングや片付けは大変ですが、ほとんどを電子楽器で行う軽音楽部では、場所や状況に応じた音量で演奏することが可能です。電子ドラムを使用してほぼ無音でライブを行ったり、アコースティック・ギターやカホンを使用して楽曲をイベント用にアレンジすることもできます。自らの演奏を不特定多数の観客に聴いてもらえるように努力することは、音楽を通じた文化芸術活動として、とても意義のあることです。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

本ガイドラインは、生徒の視点に立った、学校の文化部活動改革に向けた具体的取組について示すものである。中学生及び高校生の時期は、生徒自身の興味・関心に応じて、教育課程外の学校教育活動や地域の教育活動など、生徒による自主的・自発的な活動が多様化していく段階にある。少子化や核家族化が進む中であって、学校外の様々な活動に参加することは、実生活や実社会の生きた文脈の中で様々な価値や自己の生き方について考えることができる貴重な経験となり、幅広い視野に立って自らのキャリア形成を考える機会となることも期待される。また、生徒が多様な学びや経験をする場や自らの興味・関心を深く追究する機会などの充実につながるものである。

文化庁ホームページから検索できます。
<https://www.bunka.go.jp/index.html>

文化部活動ガイドライン

🔍 検索



文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

平成30年12月



軽音楽部の大会における統一審査基準（案）

愛知県高等学校軽音楽大会、高等学校軽音楽コンテスト中部大会において実施中

1. 審査の方向と基本的な考え方について

- 軽音楽部の大会は部活動の延長線にあるため、部活動として「本番までにメンバー全員で何を積み上げてきたか」「全員で良いステージを作れたか」を主な審査の対象とする。
- 個々のテクニックや才能よりもアンサンブルを重視し、全員で同じ目標に向かっていったかという「チームワーク」や「チームプレー」を審査する。
- 将来性、個別のアクシデントや諸事情などは考慮せず、当日のステージの完成度のみで審査する。個人の楽器トラブルなども場合によっては審査の対象とする。
- 軽音楽部はバンド演奏を通じて「コミュニケーション」を学ぶ場でもあるので、バンド形態での出場を原則とする。

2. 楽曲のカテゴリーについて

- 演奏する楽曲がオリジナル楽曲なのかコピー楽曲なのかは問わない。ただし、「クリエイティビティー」が特徴である軽音楽部の大会においては、オリジナル楽曲である方が望ましい。
- コピー楽曲の場合、審査員がその楽曲を既知かどうかで評価が変わる可能性があるため、原曲との違いで評価しない。
- カバー楽曲の場合、あくまでも「アレンジ」と捉えてオリジナル楽曲とは認めない。ただし、アレンジに対するオリジナリティーやクリエイティビティーは審査の対象とする。
- オリジナル楽曲の場合、審査員の好みによって評価が変わる可能性があるため、楽曲の良し悪しで評価しない。
※ケースによっては、楽曲の音楽性や良し悪しを通常審査とは別枠で「楽曲賞」を設けることで評価することもある。

3. 審査項目について①

合奏力

その楽曲を「演奏」するために必要なことを、メンバー全員でどれだけ突き詰めて練習してきたか。また、披露できていたかを審査する。単純に個々の技術の評価するわけではない。

①テクニック

メンバー全員がその楽曲を演奏するための技術をどれだけ習得していたか。

- 個人のハイレベルなテクニックは合奏にそぐわなければ評価しない。ただし、何もしないことが良いわけではない。
- コピー楽曲の場合、原曲に忠実かどうかよりも「良い合奏」を目指していたかを評価する。
- オリジナル楽曲の場合、個々のフレーズのアイデアやセンス、オリジナリティーなどはここでは評価しない。そのフレーズを表現するための演奏技術のみで評価する。
※部活動は単に技術の向上が目的ではなく、「技術は合奏のため」という意識を育てる。
※選曲やレベルに合ったアレンジなどをメンバーで協力して考える意識を育てる。

②リズム理解

メンバー全員がその楽曲を演奏するためのリズム（テンポ、グルーブなどを含む）をどれだけ理解していたか。また共有、及び披露できていたか。

- 全員がリズムの共有をしていたかを評価する。
- 楽曲に合ったテンポで演奏し、全員でテンポ・キープができていたかを評価する。
- 原曲に忠実かどうかよりも「良い合奏」を目指していたかを評価する。
※各々がテンポ・キープ、リズム・キープをする意識を育てる。
※音楽にはリズムが伴っていないといけないという意識を育てる。
※ポピュラー・ミュージックにとって大事な「グルーブ」への意識を育てる。

③セオリー

- メンバー全員がその楽曲を演奏するための音楽的知識をどれだけ習得していたか。また共有、及び演奏できていたか。
- 個々のフレージングにおいて、キー、構成、和音、コード進行などが理解できていたか。
- コピー楽曲の場合、原曲に忠実かどうかよりもハーモニーとして成立していたかどうかを評価する。原曲が音楽理論上、あるいは聴感上、音の重ね方などがおかしい場合であっても考慮しない。
- オリジナル楽曲の場合、コード・アレンジのアイデアやセンス、個々のフレージングなどのオリジナリティーはここでは評価しない。メンバー全員の和音への理解を評価する。
※各パートのフレーズが絡み合って音楽ができているという意識を育てる。
※キー、スケール、コード、コード進行などの必要最低限な音楽的知識の必要性を育てる。

3. 審査項目について②

表現力

その楽曲を「表現」するために必要なことを、メンバー全員でどれだけ突き詰めて練習してきたか。また、披露できていたかを審査する。

①イメージ共有

メンバー全員がその楽曲の歌詞や世界観、感情、ダイナミクスをどれだけ理解し、また共有して、どれだけ独自性を出しながら演奏できていたか。また表情やステージングなどで演出し、表現できていたか。

- 例え、音楽理論上は奇抜なフレーズであっても、楽曲の表現として成り立っていれば評価する。
- 個性に関するオリジナリティはオリジナル楽曲の場合もコピー楽曲の場合も、歌唱や演奏が音楽的かどうかを重視し、評価する。
- 派手に動きまわることや動かないステージングなどは楽曲にそぐわなければ評価しない。楽曲のイメージに合ったステージングやパフォーマンスができていたかを評価する。
- 客席に音楽や楽曲に含まれるメッセージなどを伝えようとしていたかを評価する。
- きちんと演出されていたかどうかではなく、メンバー全員が1つになってドラマを作ろうとしていたかを評価する。

※自己満足で終わらず、全員で人に何かを伝える演奏を目指す意識を育てる。

※人前で演奏するということは楽曲を聴いてもらうためだけではなく、ステージを見てもらうことでもあるという意識を育てる。

②バランス

ステージ上でメンバー同士が連携を取りながら演奏できていたか。各パートの音量や音色、音の定位、音域などのバランスが取れていたか。

- 演奏中、お互いを意識して「合わせよう」としていたか。アイコンタクト、ミスやトラブルのフォローなども評価の対象とする。
- テーマ・メロディーやソロなどの音量や音色は適切で、押し引きができていたか。
- それぞれがその楽曲の合奏に合う音作りができていて、歌を含むすべてのパートがきちんと聴こえていたか。
- チューニングが合っていたか。
 - ※自分が全体の中の1人であり、アンサンブルの中でどう演奏すれば良いかという意識を育てる。
 - ※音楽は「音」として全員で奏でるものであるという意識を育てる。
 - ※楽器を「楽器」として扱い、本番に向けたメンテナンスや調整の必要性を理解させる。

4. 審査方法と賞について（例）

- 審査員3名（1名は審査員長）が上記の考え方にに基づき、総合的な審査を点数によって行い賞を決定する。同点だった場合は審査員、及びコメンテーターによって協議され、最終的に審査員長が判断する。
- 審査員は各バンド演奏終了後に講評し、アドバイスシートに全体的なアドバイスを記入する。コメンテーターは審査には関わらず、パートごとのアドバイスをシートに記入する。
- 審査の点数は開示し、アドバイスシートは各校へ渡すことによって今後への意欲につなげる。
- 出場するバンド数が多く、演奏楽曲にオリジナル楽曲とコピー楽曲が混在する場合の部門分けやオリジナル楽曲の優秀性を審査しての「楽曲賞」の授与、各パートごとの「個人賞」の授与など、ケースによってのアレンジは可能とする。

①各賞の例

グランプリ	1 バンド
準グランプリ	1 バンド
第3位	1 バンド
奨励賞	3 バンド
楽曲賞（オリジナル楽曲のみ）	1 バンド
個人賞	各 1 名
ベスト・ボーカリスト	
ベスト・ギタリスト	
ベスト・ベーシスト	
ベスト・ドラマー	

ベスト・キーボーディスト

ベスト・プレイヤー

（上記以外の楽器演奏などで優秀な生徒がいた場合）

②楽曲賞

オリジナル楽曲において、歌詞、メロディー、コード進行、バンドアレンジ、パートアレンジなどを含め、総合的に優れていたグループに贈られる賞。

- 作者個人ではなく、グループに贈るものとする。
- 個人、及びバンドの演奏力や表現力は審査の対象に含まない。

③個人賞

個人のテクニックや音楽的センスが優れていた生徒へ贈る賞。

- アンサンブルを無視した身勝手な演奏などは対象外とする。
- オリジナル楽曲やカバー楽曲の場合、個性やオリジナリティも評価の対象とする。ただし、音楽的でない場合は評価の対象としない。

④その他、演奏中止、審査対象外、失格になる場合もある。

- 危険行為を行った場合。
- あきらかに演者の行動が起因となる遅延があった場合。
- 誹謗中傷や暴言など、部活動にそぐわないMCや発言があった場合。
- その他、大会規定のルールを守らなかった場合。

軽音楽部の困っているに応えます。



個人の楽器や部室の機材、技術指導など
お困りの際は、軽音協までお気軽にご相談ください。

まずはお電話を… TEL : 045-913-0901 E-mail : info@keionkyo.org

騒音問題はサイレント・システムが解決

バンド練習も個人練習も、外に音を出さない。新しい時代の軽音楽部の練習環境と機材。

軽音楽部のオール電化計画



紹介映像



デジタル・ミキサー
ZOOM / L-12



電子ドラム
Roland / TD-1DMK



本当に出音は小さいのか？ 操作は難しくないのか？ 実際に試したい方は軽音協までお電話ください。

